

鳥取環境大学のあり方に関するアンケート調査結果 (クロス集計)

区分	回答数	配布数	回答率
高校2年生	1,435	1,705	84.2%
保護者	965	1,705	56.6%
高校教員	1,131	1,455	77.7%
県内企業	326	620	52.6%
一般県民	403		
計	4,260	5,485	

平成22年8月16日

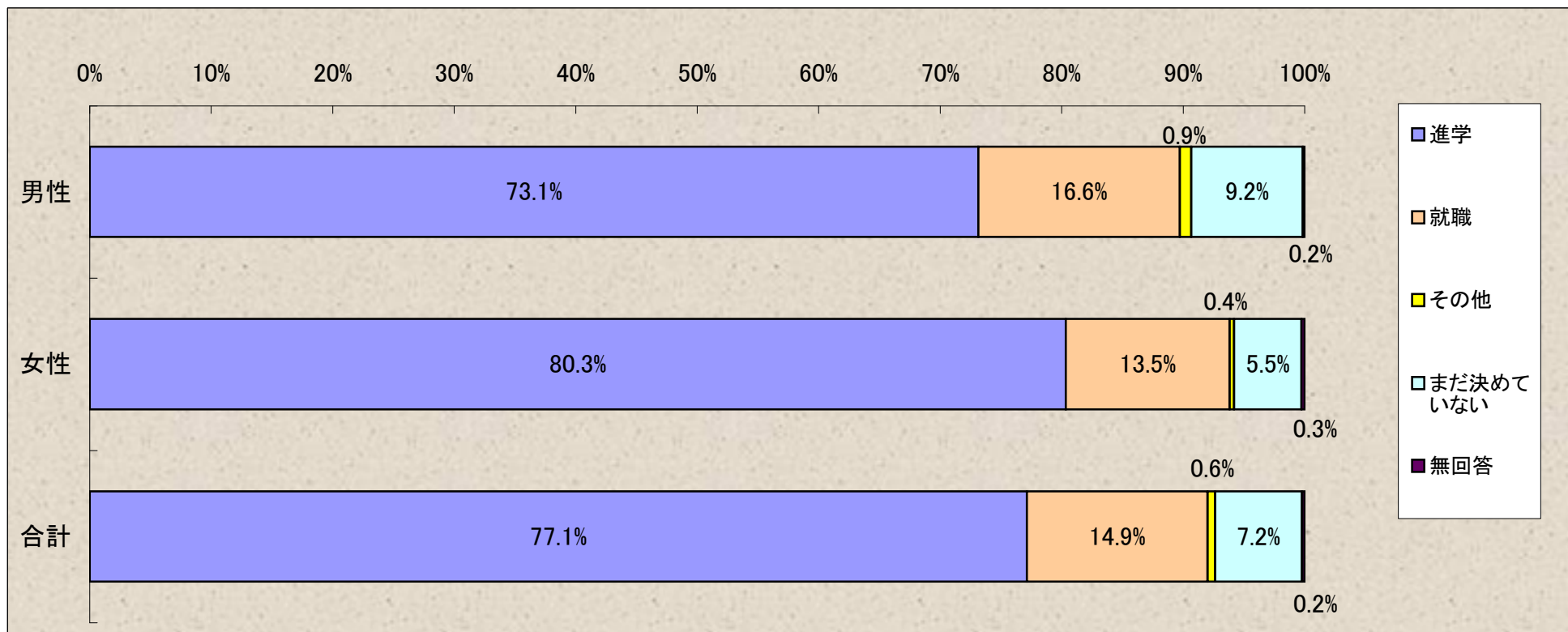
鳥取環境大学改革案評価・検討委員会事務局

■アンケート項目一覧■

1-(1) 卒業後の進路(高校2年生)	1
1-(2) 卒業後の進路(保護者)	2
2-(1) 志望校の種別(高校2年生) ※進学を希望する高校生のみ回答	3
2-(2) 志望校の種別(保護者)	4
3 志望校の設置形態(高校2年生)	5
4 自宅通学可否の重要性(保護者)	6
5-(1) 環境大学の認知度(高校2年生)	7
5-(2) 環境大学の認知度(保護者)	8
6-(1) 進学先候補としての意識(高校2年生) ※現状と公立化後の比較	9
6-(2) 進学先候補としての意識(保護者) ※現状と公立化後の比較	10
6-(3) 進学先候補としての意識(高校教員:公立・私立別) ※現状と公立化後の比較	11
6-(4) 進学先候補としての意識(高校教員:校種別) ※現状と公立化後の比較	12
7-(1) 進学先候補となる理由(高校2年生)	13
7-(2) 進学先候補となる理由(保護者)	14
8-(1) 望ましい設置形態(保護者)	15
8-(2) 望ましい設置形態(高校教員:公立・私立別)	16
8-(3) 望ましい設置形態(高校教員:校種別)	17
8-(4) 望ましい設置形態(県内企業:東・中・西別)	18
8-(5) 望ましい設置形態(県内企業:規模別)	19
8-(6) 望ましい設置形態(一般県民)	20
9-(1) 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲(保護者)	21
9-(2) 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲(県内企業)	22
9-(3) 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲(一般県民)	23
10-(1) 期待される地域貢献(県内企業:東・中・西別)	24
10-(2) 期待される地域貢献(県内企業:規模別)	25
10-(3) 期待される地域貢献(一般県民)	26
11-(1) 取り上げてほしい研究テーマ(保護者)	27
11-(2) 取り上げてほしい研究テーマ(県内企業:東・中・西別)	28
11-(3) 取り上げてほしい研究テーマ(県内企業:規模別)	29
11-(4) 取り上げてほしい研究テーマ(一般県民)	30
12 期待される社会人教育(県内企業)	31
13 従業員採用に当たっての大学卒業資格(県内企業)	32
14 経営学・環境学を履修した学生が採用の候補となる可能性(県内企業)	33
15 県内就職する際の希望分野(高校2年生)	34

1-(1) 卒業後の進路(高校2年生)

◆男子高校生よりも、女子高校生の方が進学希望が強い。



選択肢	進学	就職	その他	まだ決めていない	無回答	合計
1 男性	463	105	6	58	1	633
2 女性	637	107	3	44	2	793
合計	1,100	212	9	102	3	1,426

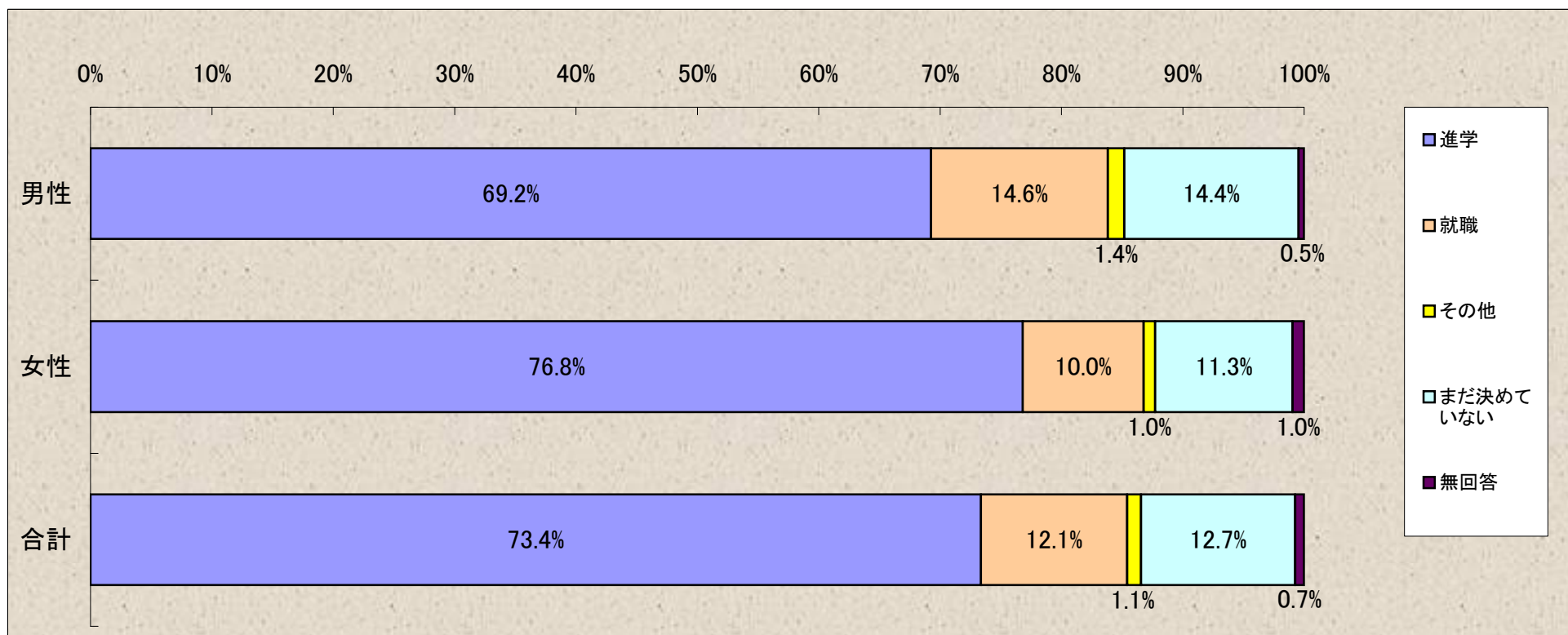
1 男性	73.1%	16.6%	0.9%	9.2%	0.2%	100.0%
2 女性	80.3%	13.5%	0.4%	5.5%	0.3%	100.0%
合計	77.1%	14.9%	0.6%	7.2%	0.2%	100.0%

【設問内容】

あなたは、高校卒業後、どのような進路を希望していますか。

1-(2) 卒業後の進路(保護者)

◆男子高校生の保護者よりも、女子高校生の保護者の方が進学希望が強い。



選択肢	進学	就職	その他	まだ決めていない	無回答	合計
1 男性	304	64	6	63	2	439
2 女性	401	52	5	59	5	522
合計	705	116	11	122	7	961

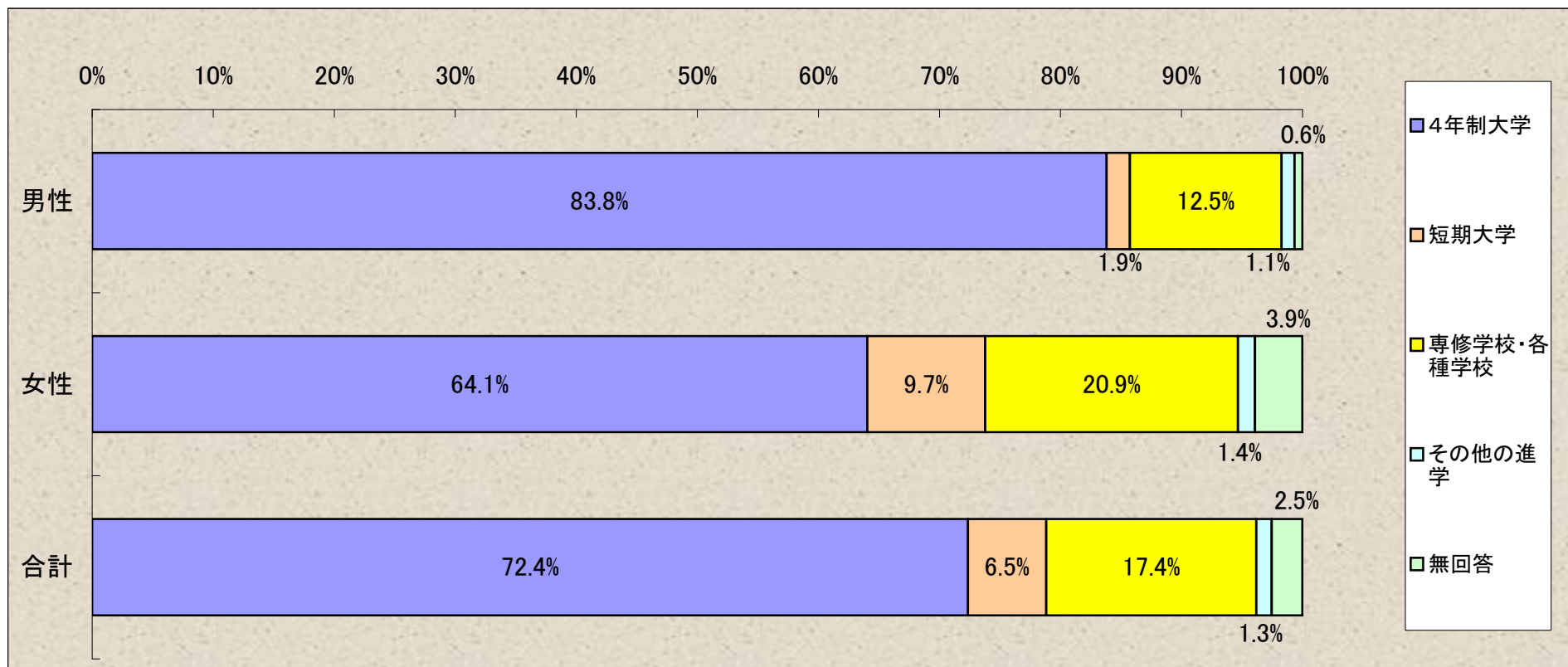
1 男性	69.2%	14.6%	1.4%	14.4%	0.5%	100.0%
2 女性	76.8%	10.0%	1.0%	11.3%	1.0%	100.0%
合計	73.4%	12.1%	1.1%	12.7%	0.7%	100.0%

【設問内容】

お子様の高校卒業後の進路について、どのような進路を希望されていますか。

2-(1) 志望校の種別(高校2年生) ※進学を希望する高校生のみ回答

◆女子高校生よりも、男子高校生の方が4年制大学への志望が強い。



選択肢	4年制大学	短期大学	専修学校・各種学校	その他の進学	無回答	合計
1 男性	388	9	58	5	3	463
2 女性	408	62	133	9	25	637
合計	796	71	191	14	28	1,100

1 男性	83.8%	1.9%	12.5%	1.1%	0.6%	100.0%
2 女性	64.1%	9.7%	20.9%	1.4%	3.9%	100.0%
合計	72.4%	6.5%	17.4%	1.3%	2.5%	100.0%

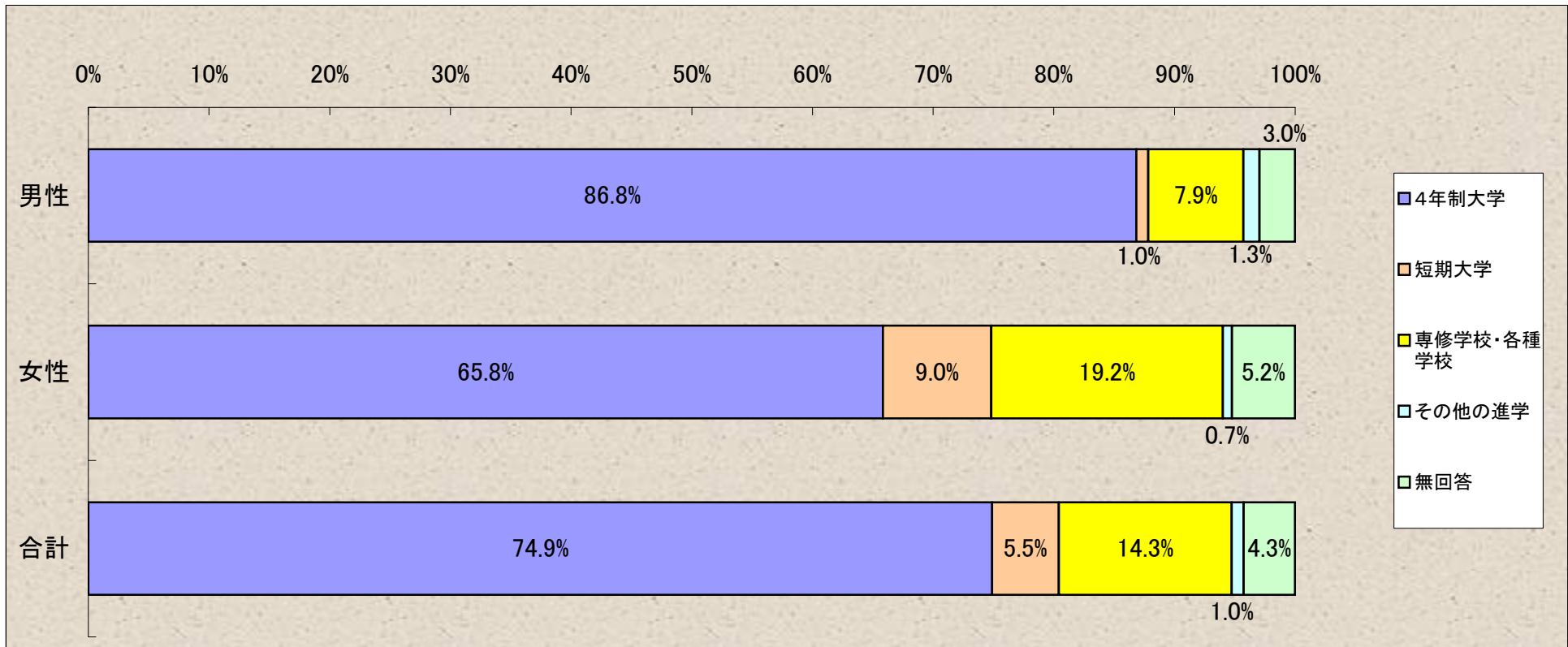
【設問内容】

高校卒業後の進学希望について、あなたが希望する学校等の種類はどれですか。

- ①4年制大学 ②短期大学
③専修学校・各種学校 ④その他の進学

2-(2) 志望校の種別(保護者)

◆女子高校生の保護者よりも、男子高校生の保護者の方が4年制大学への志望が強い。



選択肢	4年制大学	短期大学	専修学校・各種学校	その他の進学	無回答	合計
1 男性	264	3	24	4	9	304
2 女性	264	36	77	3	21	401
合計	528	39	101	7	30	705

1 男性	86.8%	1.0%	7.9%	1.3%	3.0%	100.0%
2 女性	65.8%	9.0%	19.2%	0.7%	5.2%	100.0%
合計	74.9%	5.5%	14.3%	1.0%	4.3%	100.0%

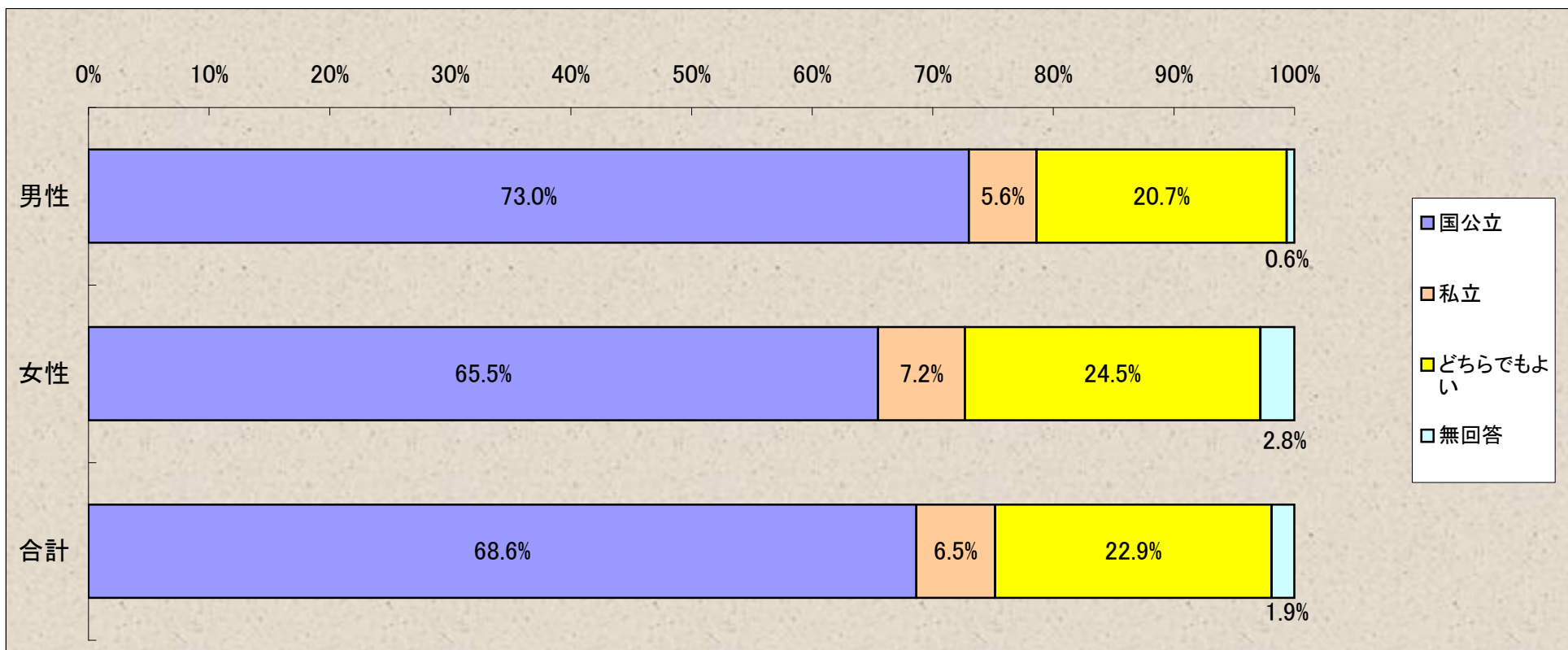
【設問内容】

高校卒業後の進学希望について、お子様を進学させたい志望校の種類はどれですか。

- ①4年制大学 ②短期大学
③専修学校・各種学校 ④その他の進学

3 志望校の設置形態(高校2年生)

◆女子高校生よりも、男子高校生の方が国公立志望が強い。



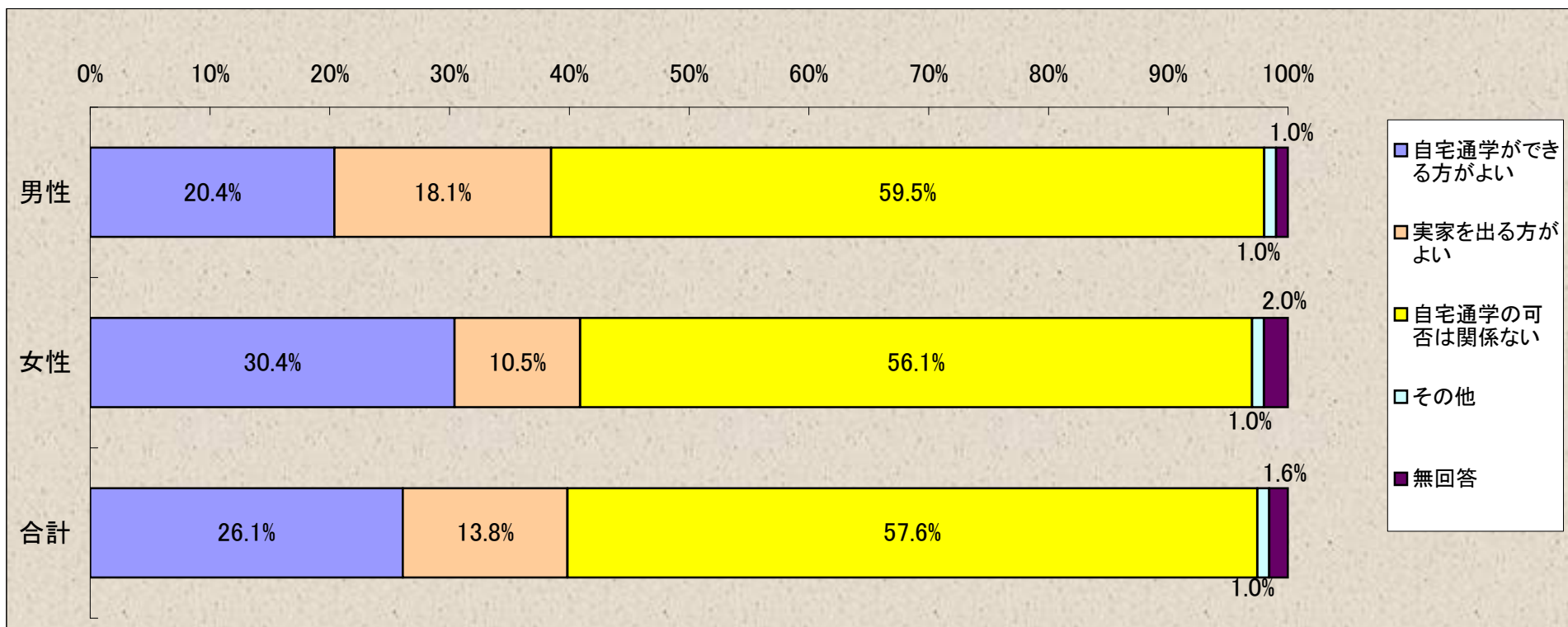
選択肢		国公立	私立	どちらでもよい	無回答	合計
1	男性	338	26	96	3	463
2	女性	417	46	156	18	637
合計		755	72	252	21	1,100

1	男性	73.0%	5.6%	20.7%	0.6%	100.0%
2	女性	65.5%	7.2%	24.5%	2.8%	100.0%
合計		68.6%	6.5%	22.9%	1.9%	100.0%

【設問内容】
 どのような設置形態の学校に進学することを希望しますか。
 ①国公立 ②私立 ③どちらでもよい

4 自宅通学可否の重要性(保護者)

◆男子高校生の保護者よりも、女子高校生の保護者は自宅通学の可否を重視する。



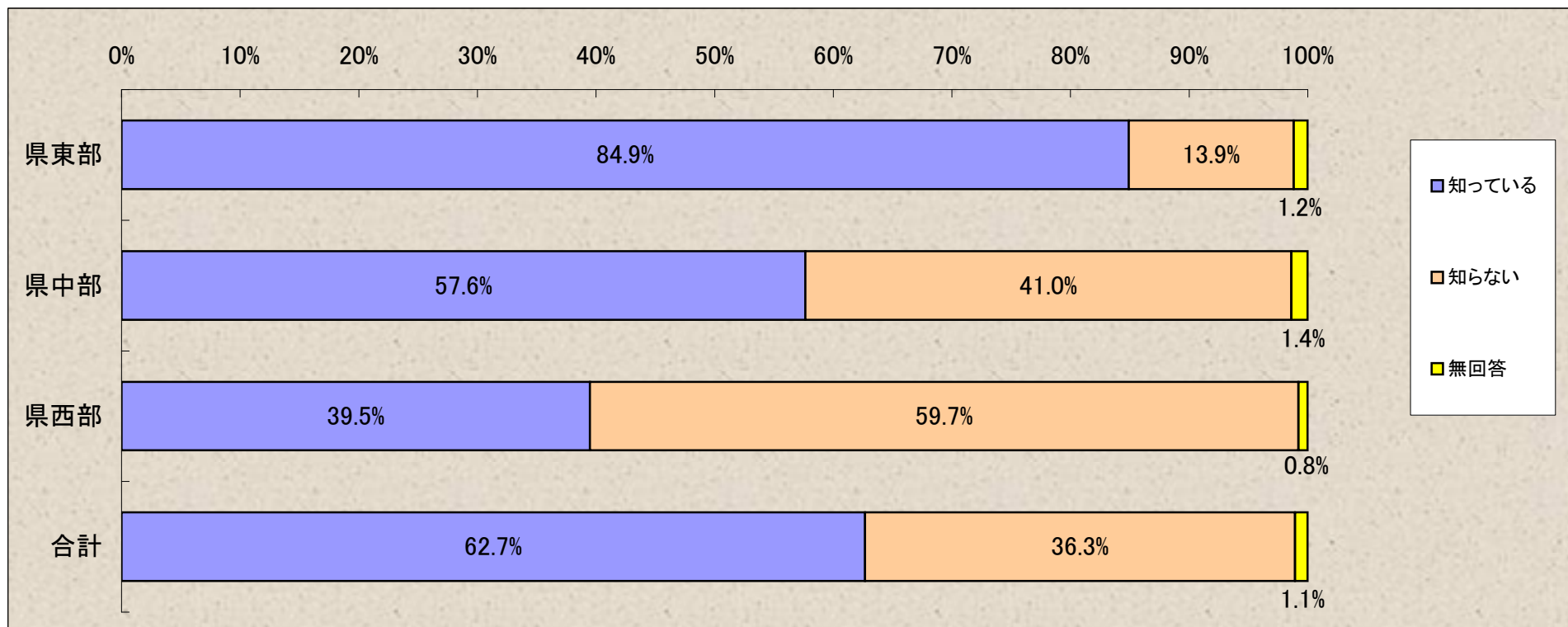
選択肢	性別	自宅通学ができる方がよい	実家を出る方がよい	自宅通学の可否は関係ない	その他	無回答	合計
1	男性	62	55	181	3	3	304
2	女性	122	42	225	4	8	401
合計		184	97	406	7	11	705

選択肢	性別	自宅通学ができる方がよい	実家を出る方がよい	自宅通学の可否は関係ない	その他	無回答	合計
1	男性	20.4%	18.1%	59.5%	1.0%	1.0%	100.0%
2	女性	30.4%	10.5%	56.1%	1.0%	2.0%	100.0%
合計		26.1%	13.8%	57.6%	1.0%	1.6%	100.0%

【設問内容】
 お子様に、志望校を選択させる際に自宅通学の可否を重視しますか。
 ①自宅通学できる方がよい
 ②実家を出る方がよい(県外の大学など)
 ③自宅通学の可否は関係ない
 ④その他()

5-(1) 環境大学の認知度(高校2年生)

◆東部→中部→西部の順に認知度が下がる。



選択肢	知っている	知らない	無回答	合計
1 県東部	506	83	7	596
2 県中部	166	118	4	288
3 県西部	201	304	4	509
合計	873	505	15	1,393

1 県東部	84.9%	13.9%	1.2%	100.0%
2 県中部	57.6%	41.0%	1.4%	100.0%
3 県西部	39.5%	59.7%	0.8%	100.0%
合計	62.7%	36.3%	1.1%	100.0%

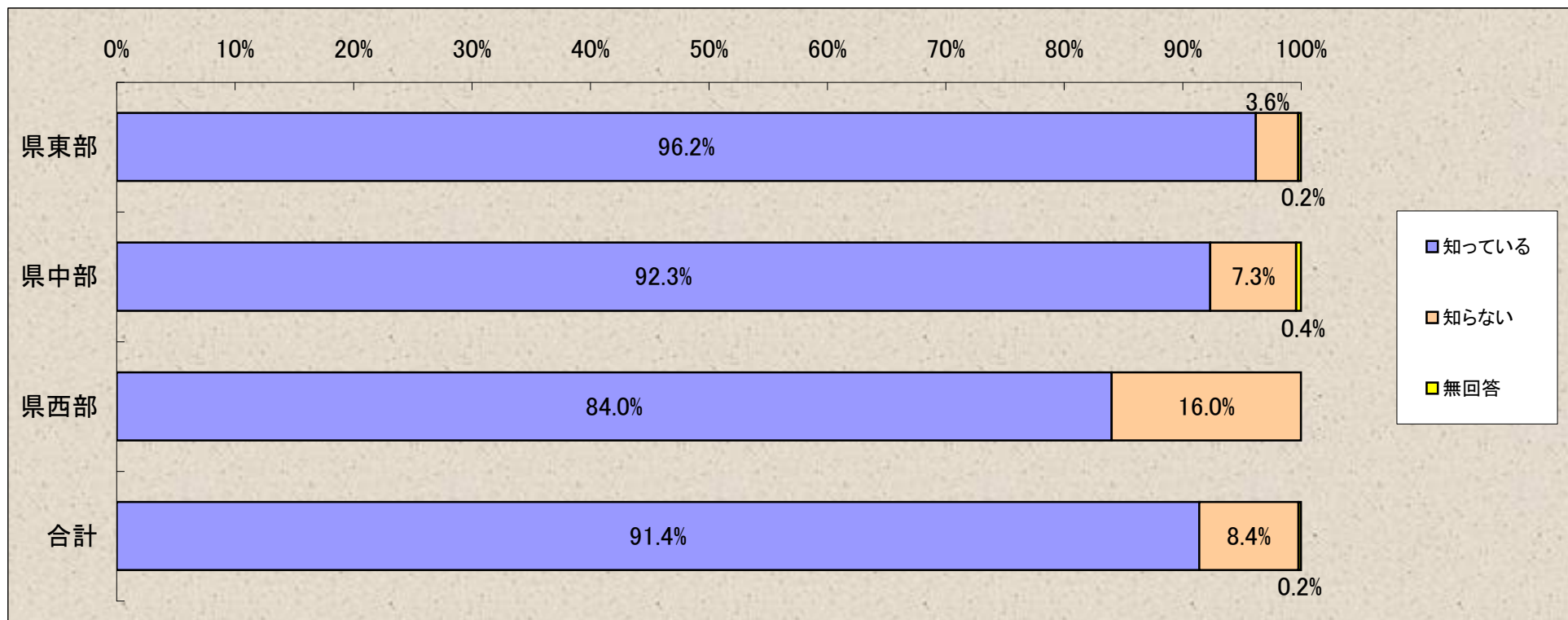
【設問内容】

鳥取環境大学は、平成13年に鳥取県と鳥取市によって設立された公設民営の大学ですが、鳥取環境大学を知っていますか。

①知っている ②知らない

5-(2) 環境大学の認知度(保護者)

◆東部→中部→西部の順に認知度が下がる。



選択肢	知っている	知らない	無回答	合計
1 県東部	402	15	1	418
2 県中部	216	17	1	234
3 県西部	252	48	0	300
合計	870	80	2	952

1 県東部	96.2%	3.6%	0.2%	100.0%
2 県中部	92.3%	7.3%	0.4%	100.0%
3 県西部	84.0%	16.0%	0.0%	100.0%
合計	91.4%	8.4%	0.2%	100.0%

【設問内容】

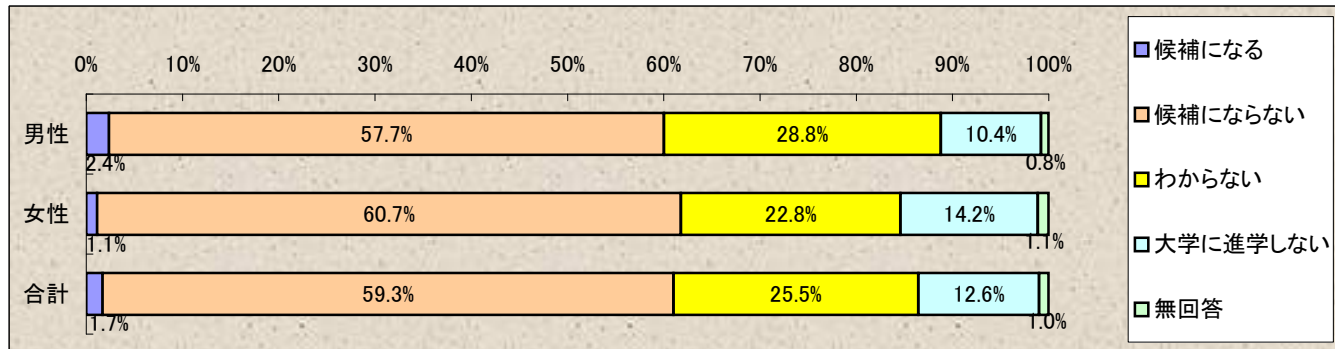
鳥取環境大学は、平成13年に鳥取県と鳥取市によって設立された公設民営の大学ですが、鳥取環境大学を知っていますか。

①知っている ②知らない

6-(1) 進学先候補としての意識(高校2年生) ※現状と公立化後の比較

◆男子高校生、女子高校生ともに、進学先候補となる割合が約3倍になる。

【現状】



選択肢	候補になる	候補にならない	わからない	大学に進学しない	無回答	合計
1 男性	15	365	182	66	5	633
2 女性	9	481	181	113	9	793
合計	24	846	363	179	14	1,426

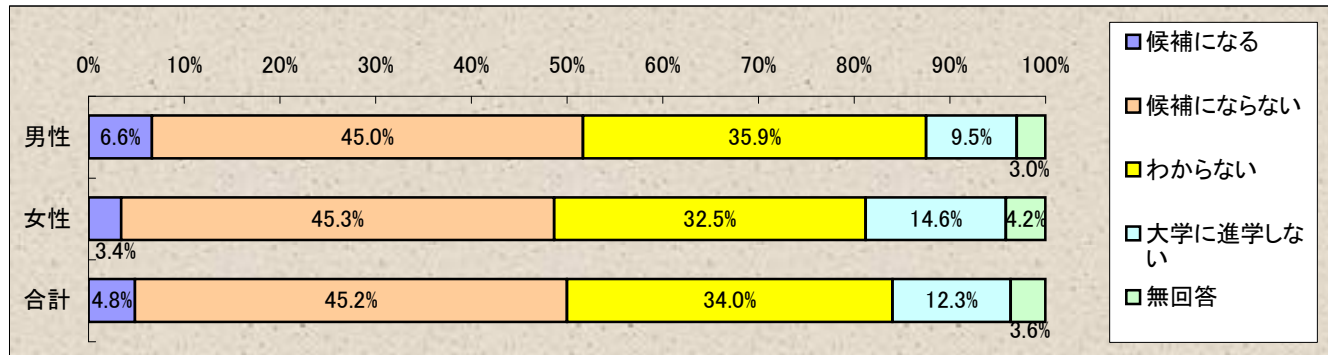
選択肢	候補になる	候補にならない	わからない	大学に進学しない	無回答	合計
1 男性	2.4%	57.7%	28.8%	10.4%	0.8%	100.0%
2 女性	1.1%	60.7%	22.8%	14.2%	1.1%	100.0%
合計	1.7%	59.3%	25.5%	12.6%	1.0%	100.0%

【設問内容】

現在の鳥取環境大学は、進学先の候補になりますか。

- ①候補になる ②候補にならない
③わからない ④大学に進学しない

【公立化後】



選択肢	候補になる	候補にならない	わからない	大学に進学しない	無回答	合計
1 男性	42	285	227	60	19	633
2 女性	27	359	258	116	33	793
合計	69	644	485	176	52	1,426

選択肢	候補になる	候補にならない	わからない	大学に進学しない	無回答	合計
1 男性	6.6%	45.0%	35.9%	9.5%	3.0%	100.0%
2 女性	3.4%	45.3%	32.5%	14.6%	4.2%	100.0%
合計	4.8%	45.2%	34.0%	12.3%	3.6%	100.0%

【設問内容】

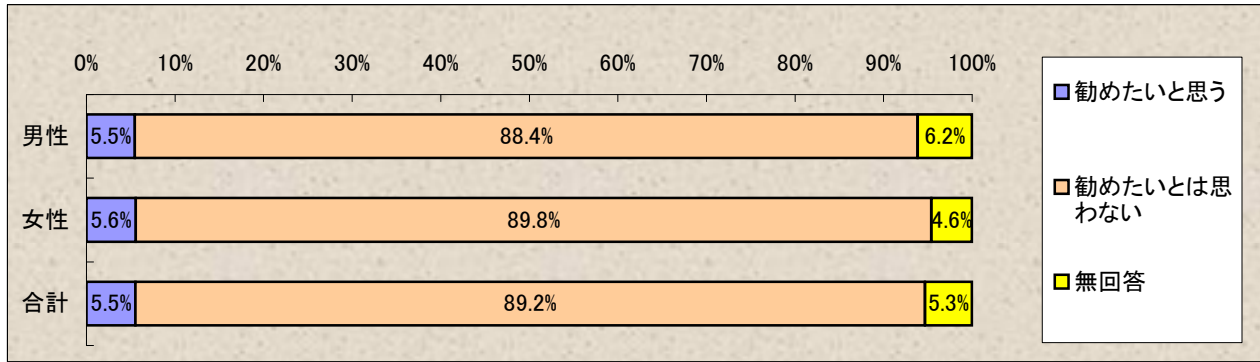
鳥取環境大学が、仮に公立大学となった場合、進学先の候補になりますか。

- ①候補になる ②候補にならない
③わからない ④大学に進学しない

6-(2) 進学先候補としての意識(保護者) ※現状と公立化後の比較

◆男子高校生、女子高校生の保護者ともに、進学先候補として勧める割合が約4倍になる。

【現状】



選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	無回答	合計
1 男性	24	388	27	439
2 女性	29	469	24	522
合計	53	857	51	961

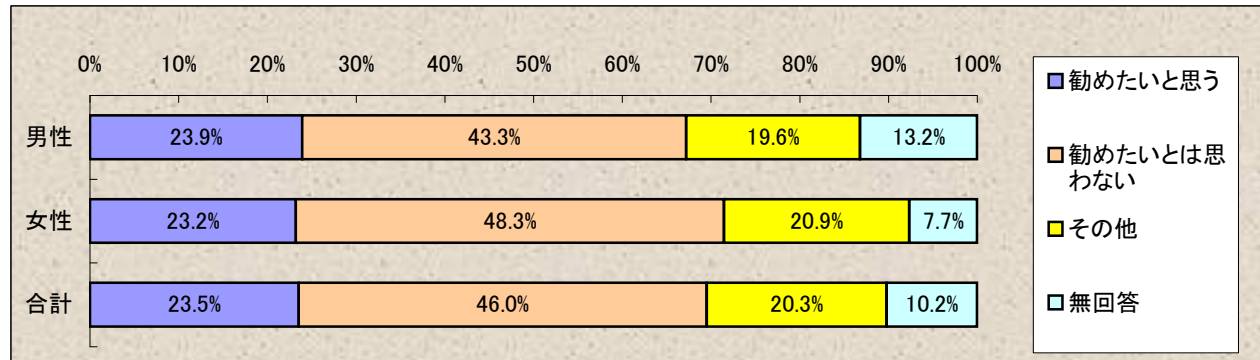
1 男性	5.5%	88.4%	6.2%	100.0%
2 女性	5.6%	89.8%	4.6%	100.0%
合計	5.5%	89.2%	5.3%	100.0%

【設問内容】

現在の鳥取環境大学への進学をお子様におすすめしたいと思いますか。

① 勧めたいと思う ② 勧めたいと思わない

【公立化後】



選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	その他	無回答	合計
1 男性	105	190	86	58	439
2 女性	121	252	109	40	522
合計	226	442	195	98	961

1 男性	23.9%	43.3%	19.6%	13.2%	100.0%
2 女性	23.2%	48.3%	20.9%	7.7%	100.0%
合計	23.5%	46.0%	20.3%	10.2%	100.0%

【設問内容】

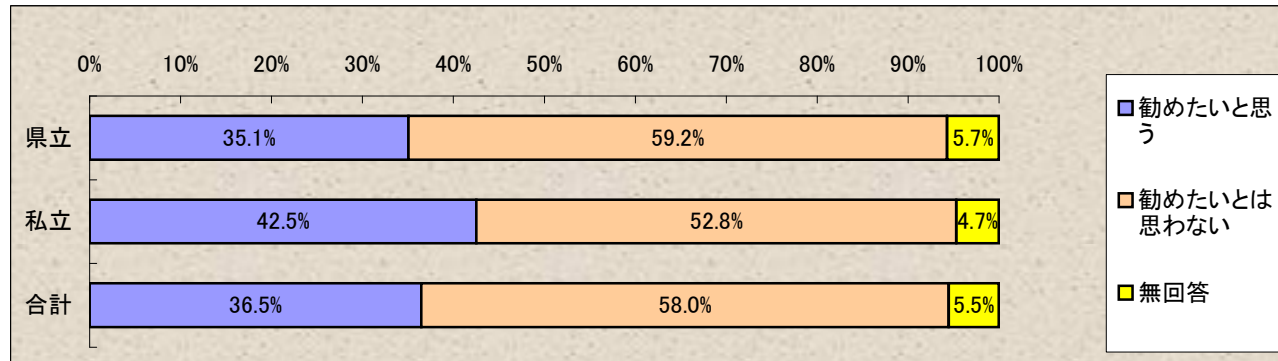
鳥取環境大学が、仮に公立大学となった場合、お子様に進学を勧めたいと思いますか。

① 勧めたいと思う ② 勧めたいと思わない
③ その他()

6-(3) 進学先候補としての意識(高校教員:公立・私立別) ※現状と公立化後の比較

◆県立・私立高校とも、公立大学となった場合、進学先候補として勧める割合が大幅に上昇し、約7割が「勧める」としている。

【現状】



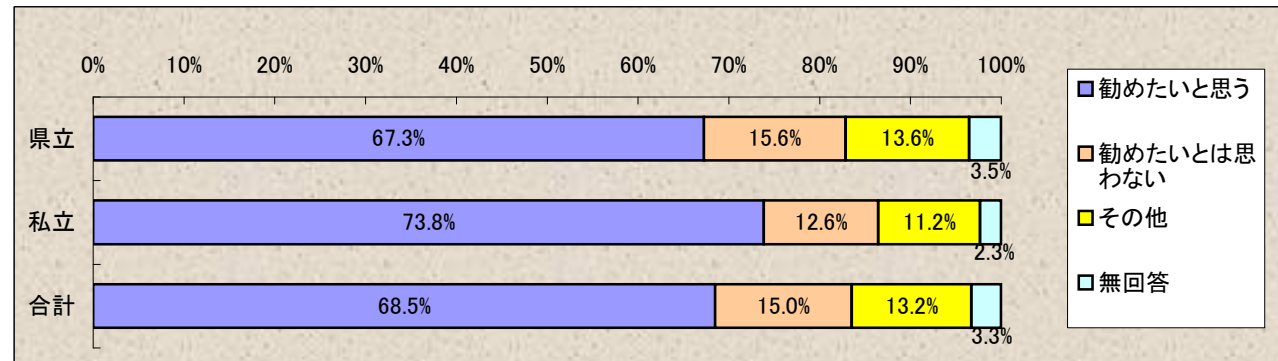
選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	無回答	合計
1 県立	319	539	52	910
2 私立	91	113	10	214
合計	410	652	62	1,124

選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	無回答	合計
1 県立	35.1%	59.2%	5.7%	100.0%
2 私立	42.5%	52.8%	4.7%	100.0%
合計	36.5%	58.0%	5.5%	100.0%

【設問内容】

現在の鳥取環境大学への進学を生徒に勧めたいと思いますか。
①勧めたいと思う ②勧めたいと思わない

【公立化後】



選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	その他	無回答	合計
1 県立	612	142	124	32	910
2 私立	158	27	24	5	214
合計	770	169	148	37	1,124

選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	その他	無回答	合計
1 県立	67.3%	15.6%	13.6%	3.5%	100.0%
2 私立	73.8%	12.6%	11.2%	2.3%	100.0%
合計	68.5%	15.0%	13.2%	3.3%	100.0%

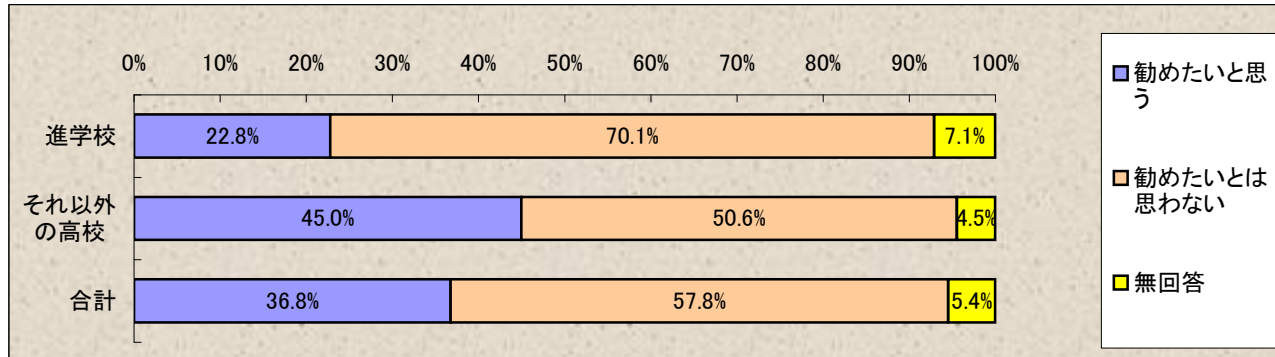
【設問内容】

鳥取環境大学が、仮に公立大学となった場合、生徒に進学を勧めたいと思いますか。
①勧めたいと思う ②勧めたいと思わない
③その他()

6-(4) 進学先候補としての意識(高校教員:校種別) ※現状と公立化後の比較

◆4年制大学への進学率が5割以上の高校、それ以外の高校とも、公立大学となった場合、進学先候補として勧める割合が大幅に上昇し、約7割が「勧める」としている。

【現状】



※注

4年制大学への進学率が5割以上の学校を「進学校」、4年制大学への進学率が5割未満の学校を「それ以外の高校」と便宜上分類して表記しています。

選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	無回答	合計
1・2 進学校	93	286	29	408
3・4・5 それ以外	312	351	31	694
合計	405	637	60	1,102

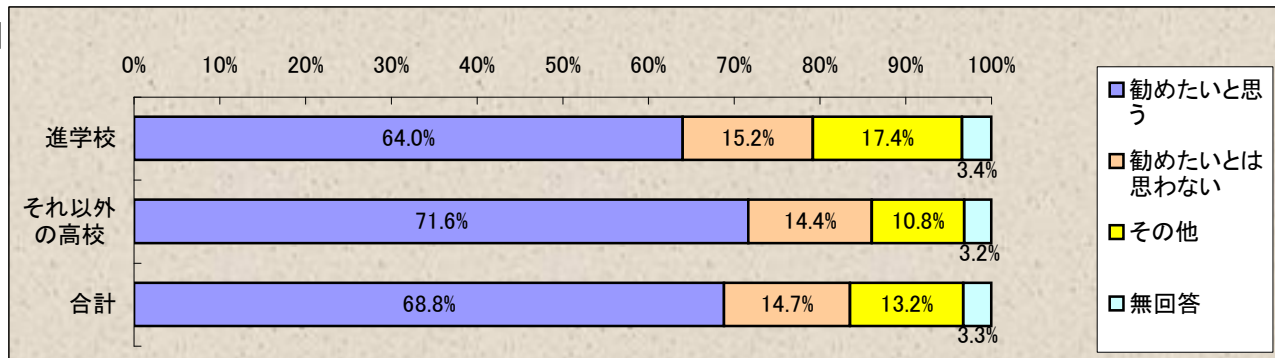
選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	無回答	合計
1・2 進学校	22.8%	70.1%	7.1%	100.0%
3・4・5 それ以外	45.0%	50.6%	4.5%	100.0%
合計	36.8%	57.8%	5.4%	100.0%

【設問内容】

現在の鳥取環境大学への進学を生徒に勧めたいと思いますか。

①勧めたいと思う ②勧めたいと思わない

【公立化後】



選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	その他	無回答	合計
1・2 進学校	261	62	71	14	408
3・4・5 それ以外	497	100	75	22	694
合計	758	162	146	36	1,102

選択肢	勧めたいと思う	勧めたいとは思わない	その他	無回答	合計
1・2 進学校	64.0%	15.2%	17.4%	3.4%	100.0%
3・4・5 それ以外	71.6%	14.4%	10.8%	3.2%	100.0%
合計	68.8%	14.7%	13.2%	3.3%	100.0%

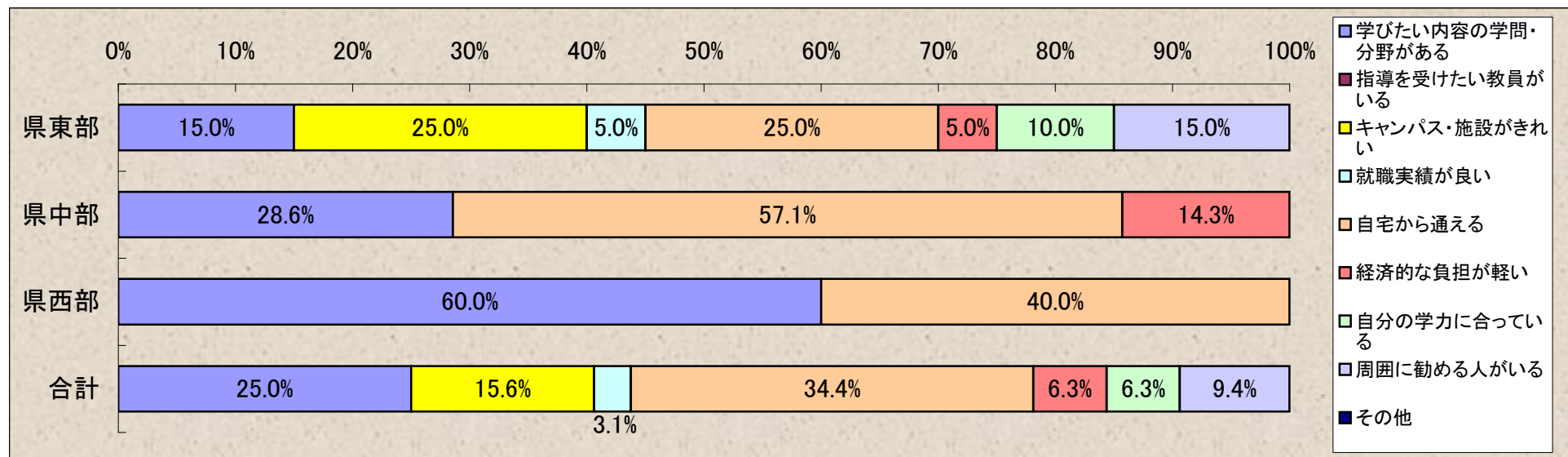
【設問内容】

鳥取環境大学が、仮に公立大学となった場合、生徒に進学を勧めたいと思いますか。

①勧めたいと思う ②勧めたいと思わない
③その他()

7-(1) 進学先候補となる理由(高校2年生)

◆東部、中部の高校生は「キャンパス・施設がきれい」、「自宅から通える」ことを理由とする一方で、西部の高校生は、教育内容を評価して進学先候補とする割合が高い。



【設問内容】

現在の環境大学が、進学先の候補となるのは、どのような理由ですか。

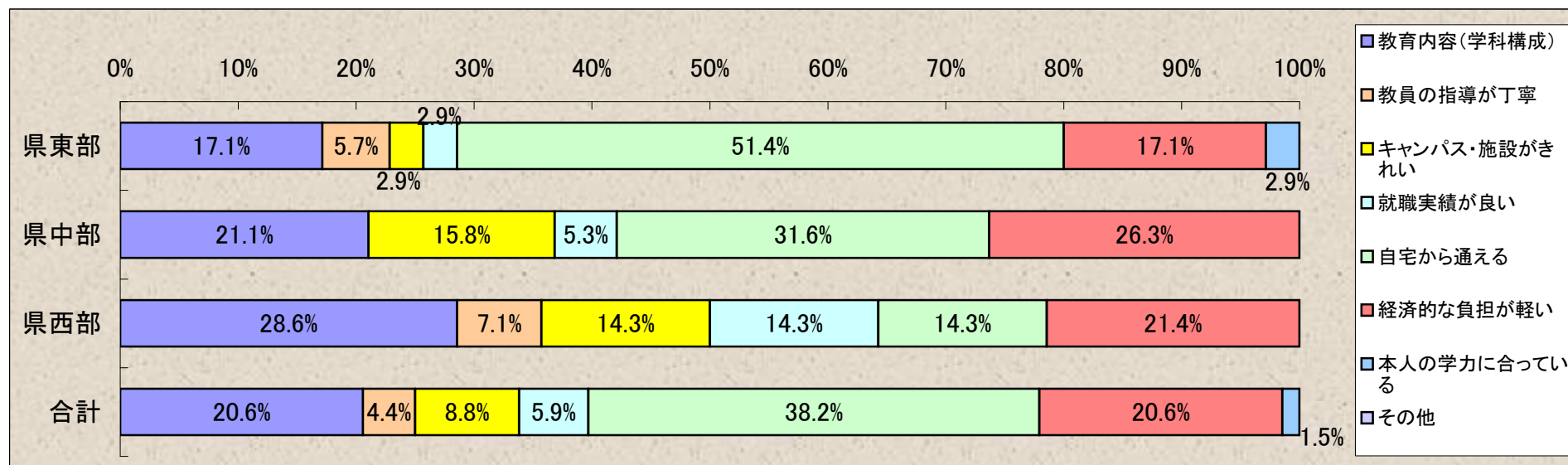
- ①学びたい内容の学問・分野がある ②指導を受けたい教員がいる ③キャンパス・施設がきれい ④就職実績がよい
⑤自宅から通える ⑥経済的な負担が少ない ⑦自分の学力に合っている ⑧周囲に勧める人がいる ⑨その他()

選択肢	学びたい内容の学問・分野がある	指導を受けたい教員がいる	キャンパス・施設がきれい	就職実績が良い	自宅から通える	経済的な負担が軽い	自分の学力に合っている	周囲に勧める人がいる	その他	合計
1 県東部	3	0	5	1	5	1	2	3	0	20
2 県中部	2	0	0	0	4	1	0	0	0	7
3 県西部	3	0	0	0	2	0	0	0	0	5
合計	8	0	5	1	11	2	2	3	0	32

選択肢	学びたい内容の学問・分野がある	指導を受けたい教員がいる	キャンパス・施設がきれい	就職実績が良い	自宅から通える	経済的な負担が軽い	自分の学力に合っている	周囲に勧める人がいる	その他	合計
1 県東部	15.0%	0.0%	25.0%	5.0%	25.0%	5.0%	10.0%	15.0%	0.0%	100.0%
2 県中部	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3 県西部	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	25.0%	0.0%	15.6%	3.1%	34.4%	6.3%	6.3%	9.4%	0.0%	100.0%

7-(2) 進学先候補となる理由(保護者)

◆「自宅から通える」、「経済的な負担が軽い」ことが主な理由であるが、西部では教育内容(学科構成)を評価して進学先候補とする割合が高い。



【設問内容】

現在の環境大学を、進学先の候補として勧めたいと思うのは、どのような理由ですか。

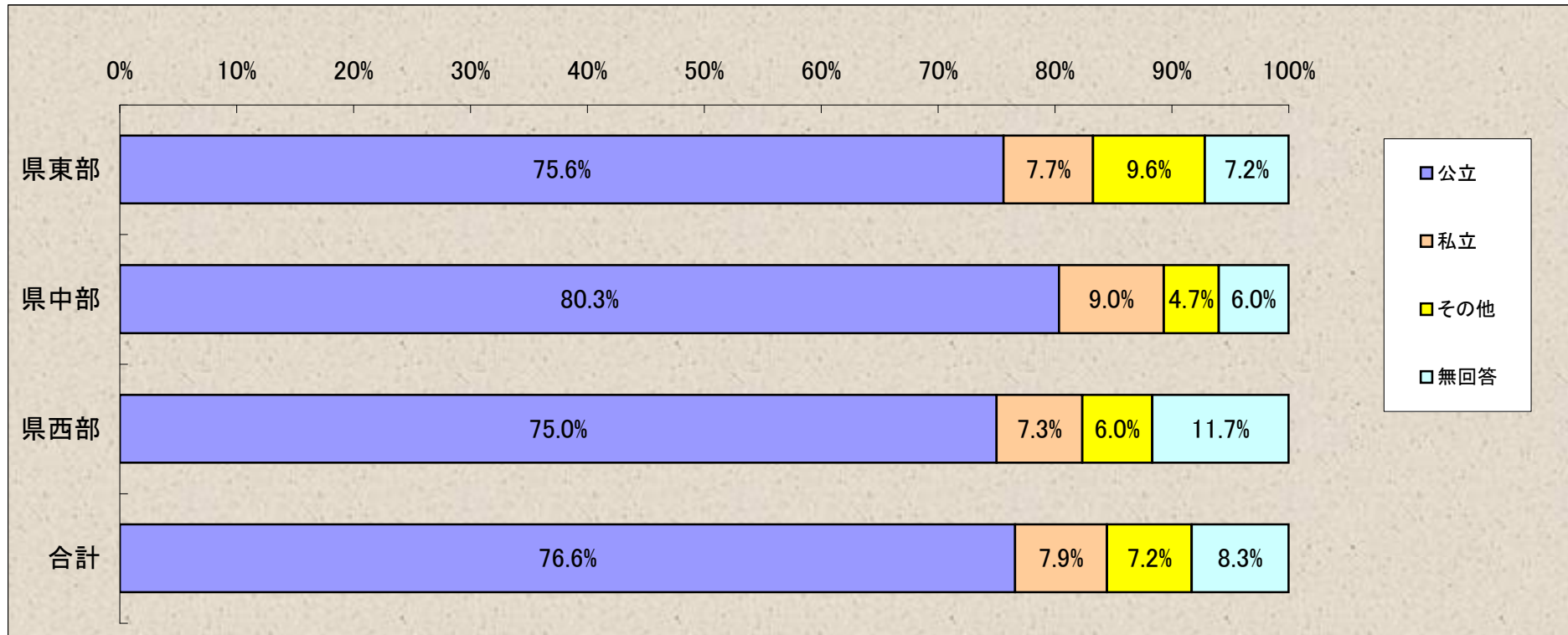
- ①教育内容(学科構成) ②教員の指導が丁寧 ③キャンパス・施設がきれい ④就職実績がよい
⑤自宅から通える ⑥経済的な負担が少ない ⑦本人の学力に合っている ⑧その他()

選択肢	教育内容(学科構成)	教員の指導が丁寧	キャンパス・施設がきれい	就職実績が良い	自宅から通える	経済的な負担が軽い	本人の学力に合っている	その他	合計
1 県東部	6	2	1	1	18	6	1	0	35
2 県中部	4	0	3	1	6	5	0	0	19
3 県西部	4	1	2	2	2	3	0	0	14
合計	14	3	6	4	26	14	1	0	68

1 県東部	17.1%	5.7%	2.9%	2.9%	51.4%	17.1%	2.9%	0.0%	100.0%
2 県中部	21.1%	0.0%	15.8%	5.3%	31.6%	26.3%	0.0%	0.0%	100.0%
3 県西部	28.6%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	20.6%	4.4%	8.8%	5.9%	38.2%	20.6%	1.5%	0.0%	100.0%

8-(1) 望ましい設置形態(保護者)

◆東部、中部、西部ともに、8割近くの保護者が「公立化」を望んでいる。



選択肢	公立	私立	その他	無回答	合計
1 県東部	316	32	40	30	418
2 県中部	188	21	11	14	234
3 県西部	225	22	18	35	300
合計	729	75	69	79	952

1 県東部	75.6%	7.7%	9.6%	7.2%	100.0%
2 県中部	80.3%	9.0%	4.7%	6.0%	100.0%
3 県西部	75.0%	7.3%	6.0%	11.7%	100.0%
合計	76.6%	7.9%	7.2%	8.3%	100.0%

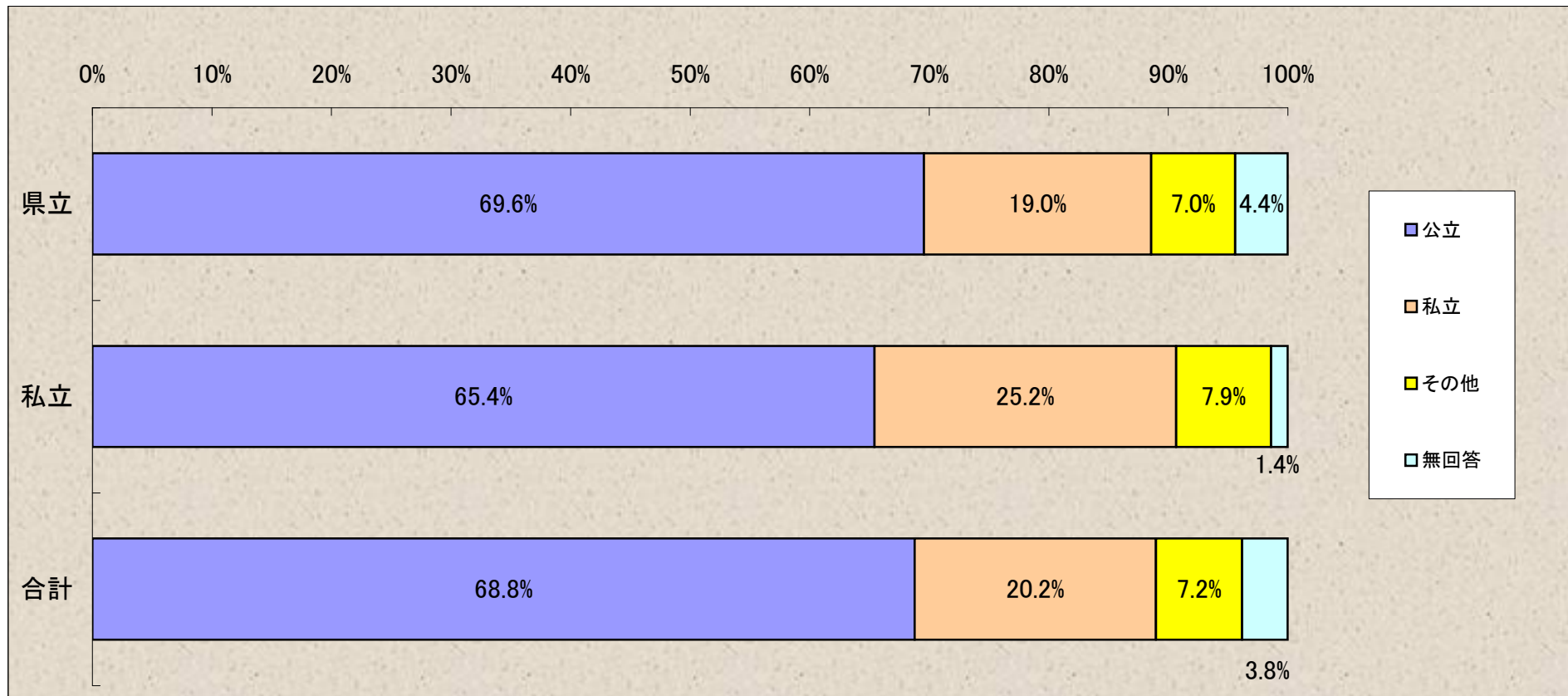
【設問内容】

鳥取環境大学については、公立化も含めた設置形態の検討もされています。鳥取環境大学は今後、どのような設置形態が望ましいと思いますか。

①公立 ②私立 ③その他()

8-(2) 望ましい設置形態(高校教員:公立・私立別)

◆ 県立高校、私立高校ともに、教員の約7割が「公立化」を望んでいる。



選択肢	公立	私立	その他	無回答	合計
1 県立	633	173	64	40	910
2 私立	140	54	17	3	214
合計	773	227	81	43	1,124

1 県立	69.6%	19.0%	7.0%	4.4%	100.0%
2 私立	65.4%	25.2%	7.9%	1.4%	100.0%
合計	68.8%	20.2%	7.2%	3.8%	100.0%

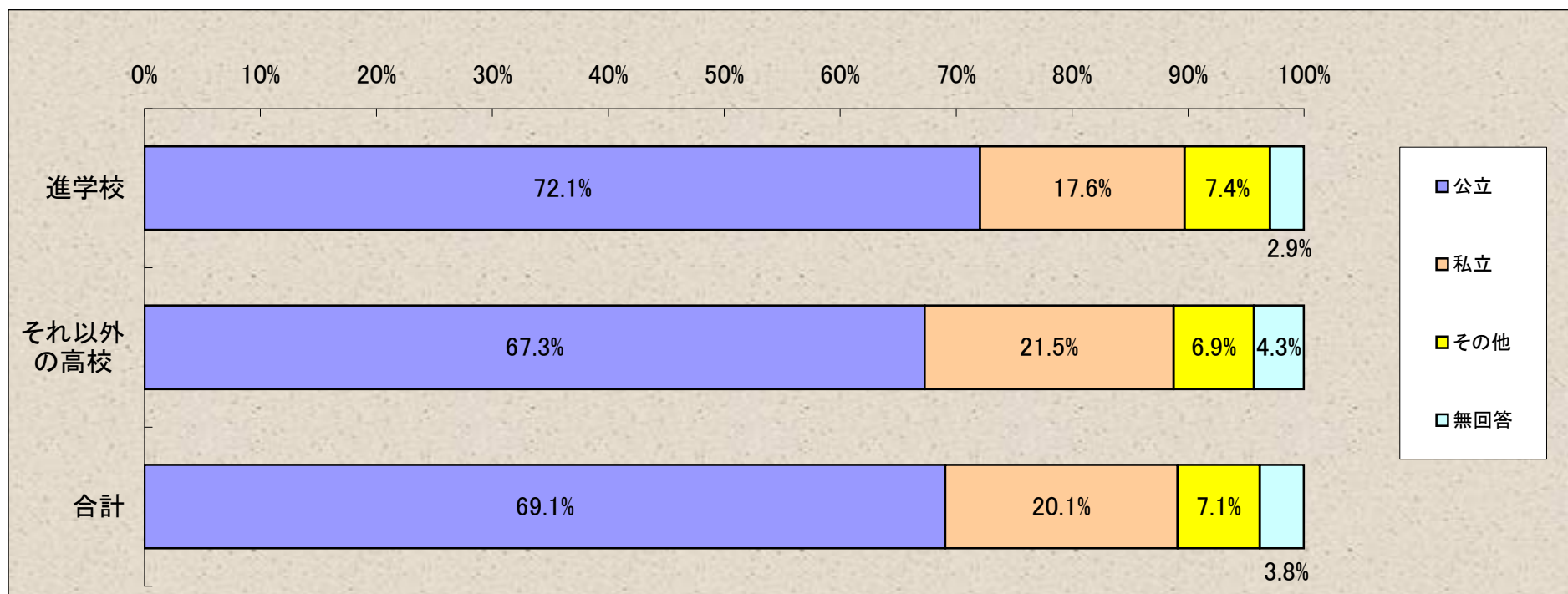
【設問内容】

鳥取環境大学については、公立化も含めた設置形態の検討もされています。鳥取環境大学は今後、どのような設置形態が望ましいと思いますか。

①公立 ②私立 ③その他()

8-(3) 望ましい設置形態(高校教員:校種別)

◆4年制大学への進学率が5割以上の高校、それ以外の高校ともに、教員の約7割が「公立化」を望んでいる。



※注
4年制大学への進学率が5割以上の学校を「進学校」、
4年制大学への進学率が5割未満の学校を「それ以外の高校」と便宜上分類して表記しています。

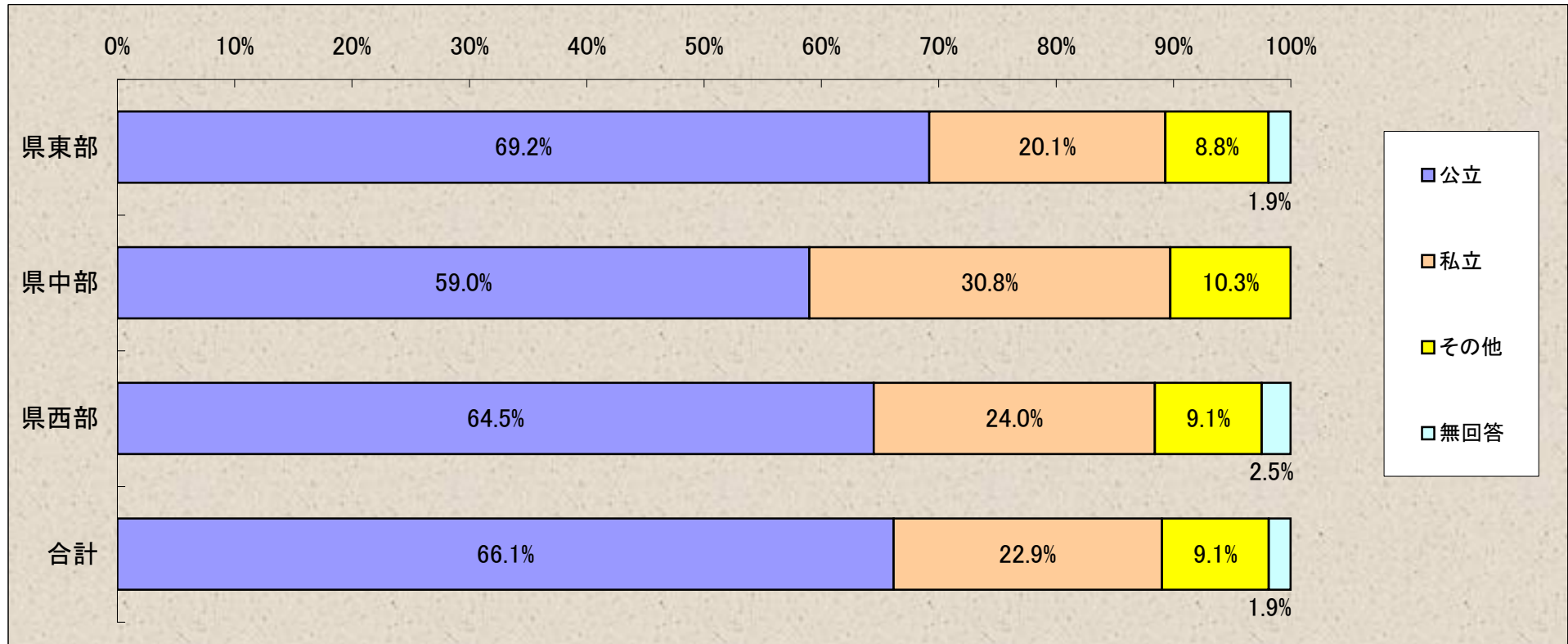
選択肢	公立	私立	その他	無回答	合計
1・2 進学校	294	72	30	12	408
3・4・5 それ以外	467	149	48	30	694
合計	761	221	78	42	1,102

1・2 進学校	72.1%	17.6%	7.4%	2.9%	100.0%
3・4・5 それ以外	67.3%	21.5%	6.9%	4.3%	100.0%
合計	69.1%	20.1%	7.1%	3.8%	100.0%

【設問内容】
鳥取環境大学については、公立化も含めた設置形態の検討もされています。鳥取環境大学は今後、どのような設置形態が望ましいと思いますか。
①公立 ②私立 ③その他()

8-(4) 望ましい設置形態(県内企業:東・中・西別)

◆東部の企業は7割が、中部では約6割、西部では65パーセントの企業が「公立化」を望んでいる。



選択肢	公立	私立	その他	無回答	合計
1 県東部	110	32	14	3	159
2 県中部	23	12	4	0	39
3 県西部	78	29	11	3	121
合計	211	73	29	6	319

1 県東部	69.2%	20.1%	8.8%	1.9%	100.0%
2 県中部	59.0%	30.8%	10.3%	0.0%	100.0%
3 県西部	64.5%	24.0%	9.1%	2.5%	100.0%
合計	66.1%	22.9%	9.1%	1.9%	100.0%

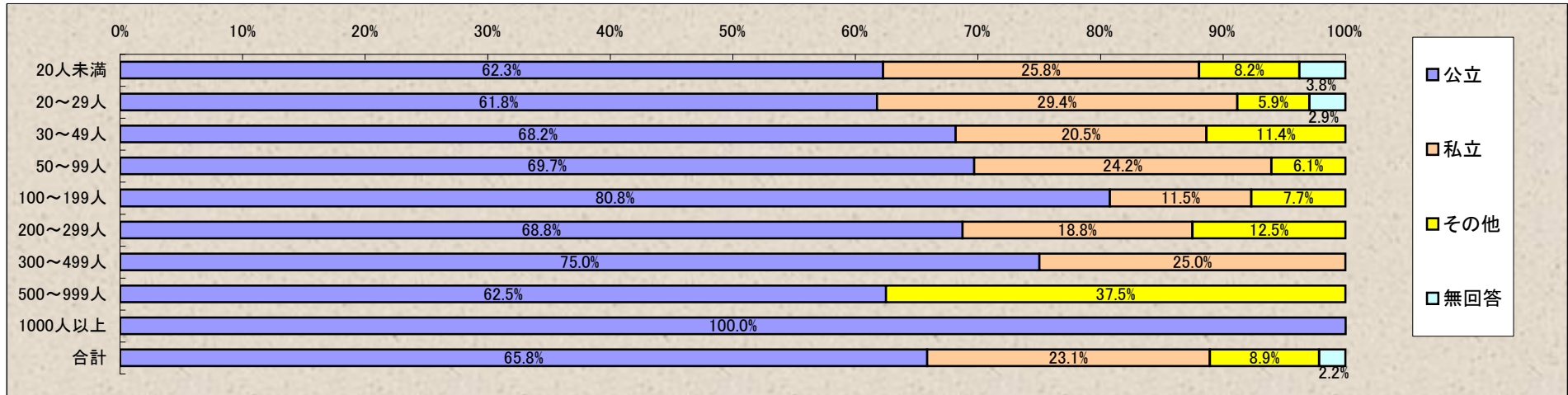
【設問内容】

鳥取環境大学については、公立化も含めた設置形態の検討もされています。鳥取環境大学は今後、どのような設置形態が望ましいと思いますか。

①公立 ②私立 ③その他()

8-(5) 望ましい設置形態(県内企業:規模別)

◆企業の規模を問わず、6割以上の企業が「公立化」を望んでいる。



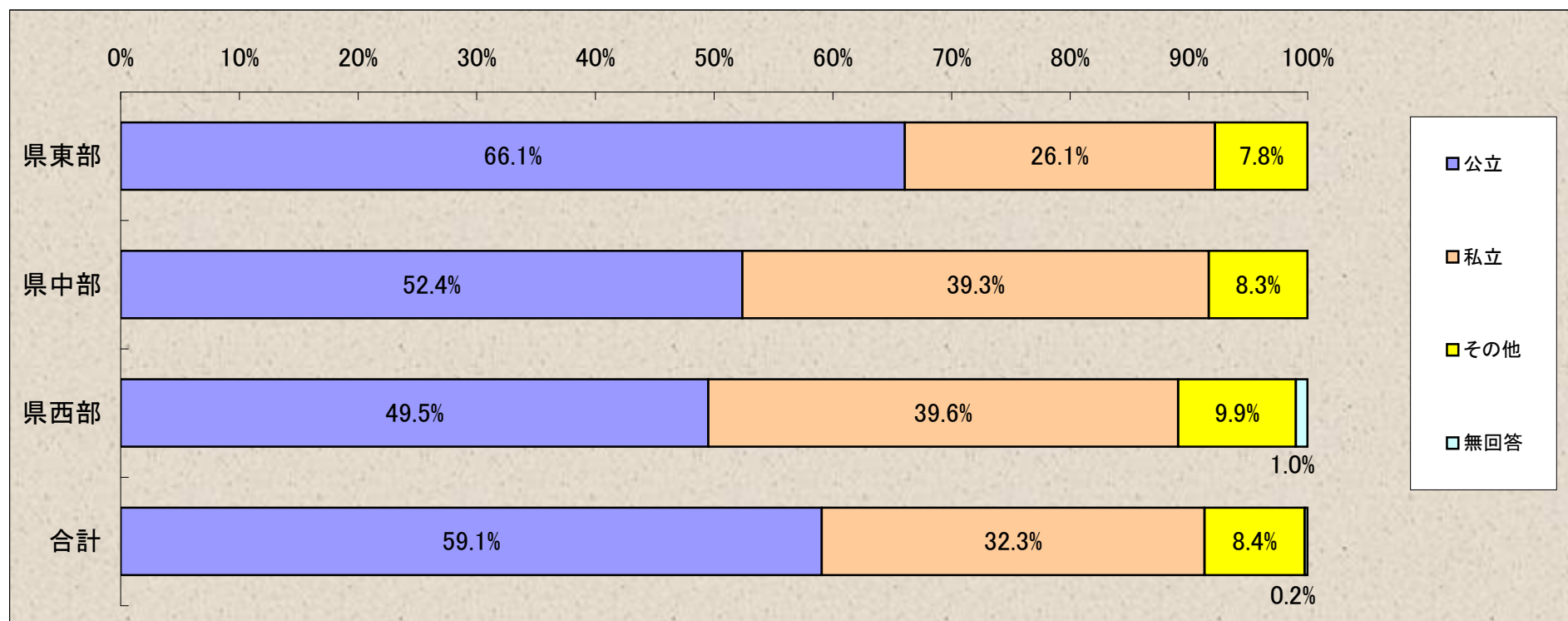
選択肢	公立	私立	その他	無回答	合計
1 20人未満	99	41	13	6	159
2 20～29人	21	10	2	1	34
3 30～49人	30	9	5	0	44
4 50～99人	23	8	2	0	33
5 100～199人	21	3	2	0	26
6 200～299人	11	3	2	0	16
7 300～499人	3	1	0	0	4
8 500～999人	5	0	3	0	8
9 1000人以上	1	0	0	0	1
合計	214	75	29	7	325

選択肢	公立	私立	その他	無回答	合計
1 20人未満	62.3%	25.8%	8.2%	3.8%	100.0%
2 20～29人	61.8%	29.4%	5.9%	2.9%	100.0%
3 30～49人	68.2%	20.5%	11.4%	0.0%	100.0%
4 50～99人	69.7%	24.2%	6.1%	0.0%	100.0%
5 100～199人	80.8%	11.5%	7.7%	0.0%	100.0%
6 200～299人	68.8%	18.8%	12.5%	0.0%	100.0%
7 300～499人	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8 500～999人	62.5%	0.0%	37.5%	0.0%	100.0%
9 1000人以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	65.8%	23.1%	8.9%	2.2%	100.0%

【設問内容】
鳥取環境大学については、公立化も含めた設置形態の検討もされています。鳥取環境大学は今後、どのような設置形態が望ましいと思いますか。
①公立 ②私立 ③その他()

8-(6) 望ましい設置形態(一般県民)

◆東部では約65%、中部、西部では約5割の県民が「公立化」を望んでいる。



選択肢	公立	私立	その他	無回答	合計
1 県東部	144	57	17	0	218
2 県中部	44	33	7	0	84
3 県西部	50	40	10	1	101
合計	238	130	34	1	403

1 県東部	66.1%	26.1%	7.8%	0.0%	100.0%
2 県中部	52.4%	39.3%	8.3%	0.0%	100.0%
3 県西部	49.5%	39.6%	9.9%	1.0%	100.0%
合計	59.1%	32.3%	8.4%	0.2%	100.0%

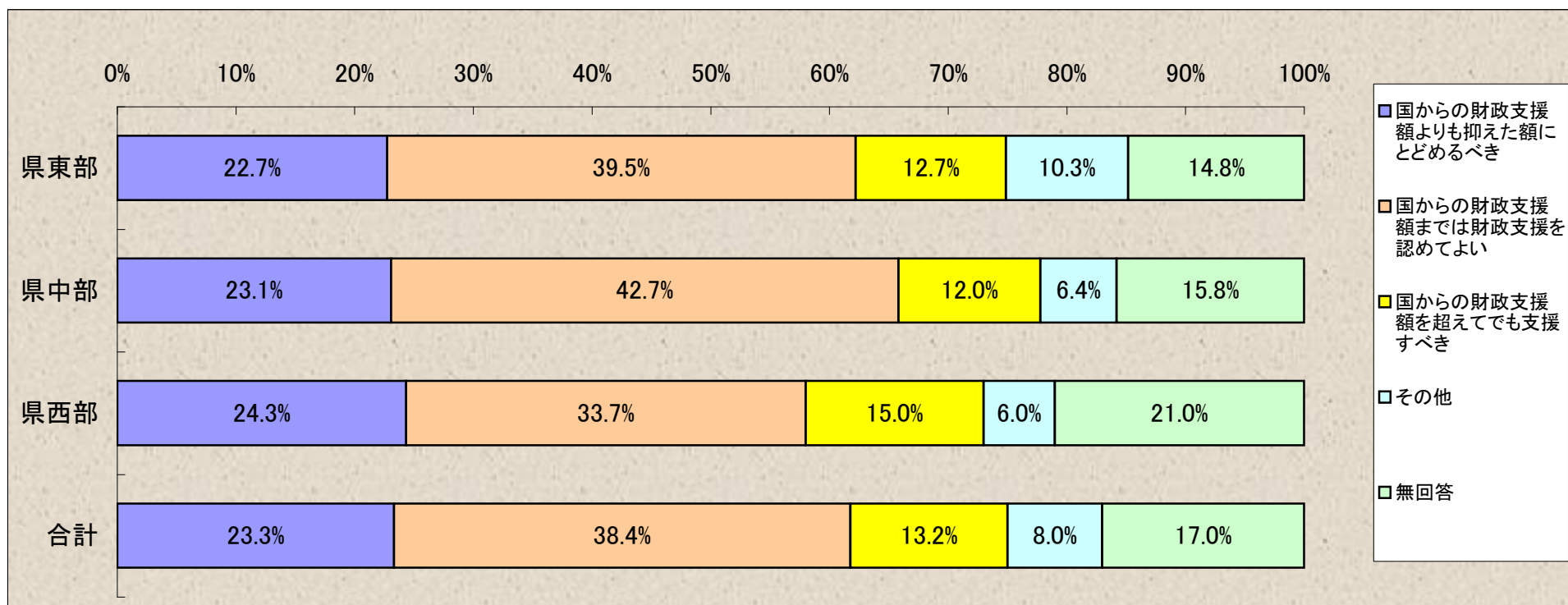
【設問内容】

鳥取環境大学については、公立化も含めた設置形態の検討もされています。鳥取環境大学は今後、どのような設置形態が望ましいと思いますか。

①公立 ②私立 ③その他()

9-(1) 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲(保護者)

◆「国からの財政支援額までは財政支援を認めてよい」とする意見が多い。



選択肢	国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき	国からの財政支援額までは財政支援を認めてよい	国からの財政支援額を超えてでも支援すべき	その他	無回答	合計
1 県東部	95	165	53	43	62	418
2 県中部	54	100	28	15	37	234
3 県西部	73	101	45	18	63	300
合計	222	366	126	76	162	952

1 県東部	22.7%	39.5%	12.7%	10.3%	14.8%	100.0%
2 県中部	23.1%	42.7%	12.0%	6.4%	15.8%	100.0%
3 県西部	24.3%	33.7%	15.0%	6.0%	21.0%	100.0%
合計	23.3%	38.4%	13.2%	8.0%	17.0%	100.0%

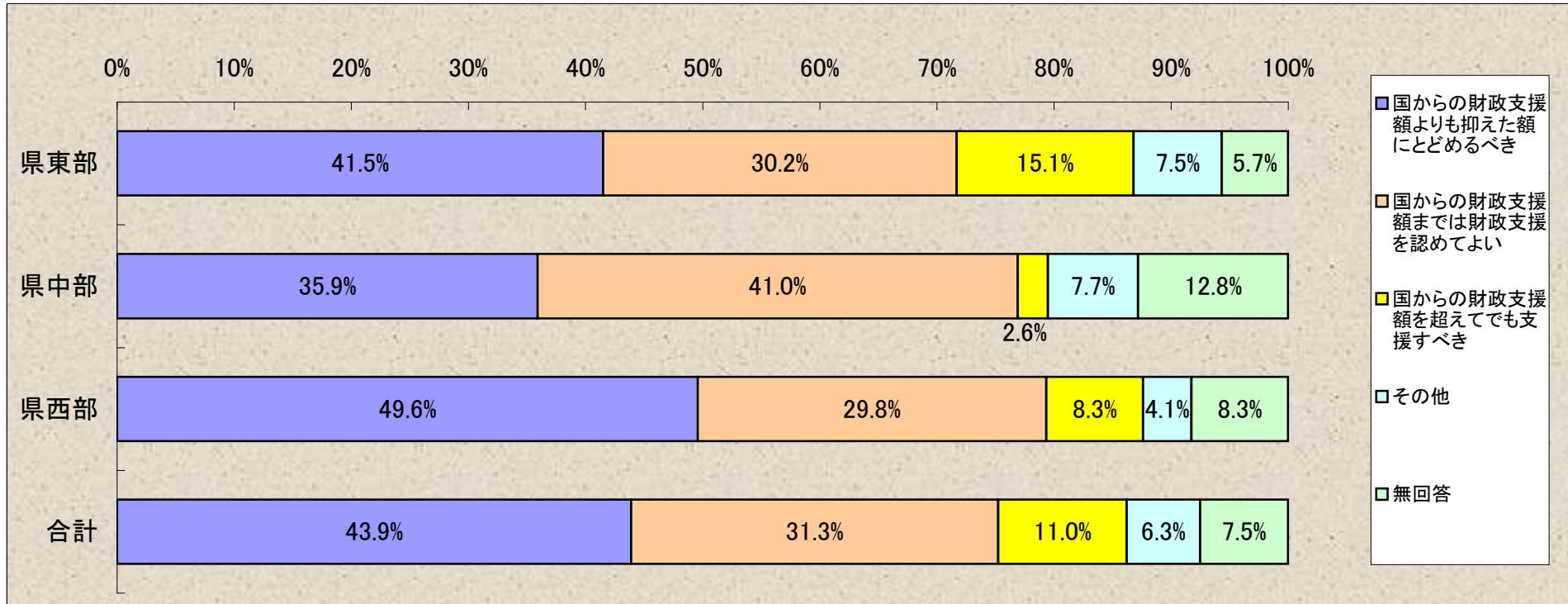
【設問内容】

仮に公立大学にする場合などの程度の県・鳥取市の財政負担まで許されると思いますか。

- ①財政支援は、大学の自助努力により、国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき
- ②国からの財政支援額までは、大学に対する財政支援を認めてよい
- ③国からの財政支援額を超えてでも、大学を支援すべき
- ④その他()

9-(2) 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲(県内企業)

◆各地区とも、「国からの財政支援額までは財政支援を認めてよい」とする意見が圧倒的であるが、特に西部では「国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき」とする意見が多い。



選択肢	国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき	国からの財政支援額までは財政支援を認めてよい	国からの財政支援額を超えてでも支援すべき	その他	無回答	合計
1 県東部	66	48	24	12	9	159
2 県中部	14	16	1	3	5	39
3 県西部	60	36	10	5	10	121
合計	140	100	35	20	24	319

選択肢	国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき	国からの財政支援額までは財政支援を認めてよい	国からの財政支援額を超えてでも支援すべき	その他	無回答	合計
1 県東部	41.5%	30.2%	15.1%	7.5%	5.7%	100.0%
2 県中部	35.9%	41.0%	2.6%	7.7%	12.8%	100.0%
3 県西部	49.6%	29.8%	8.3%	4.1%	8.3%	100.0%
合計	43.9%	31.3%	11.0%	6.3%	7.5%	100.0%

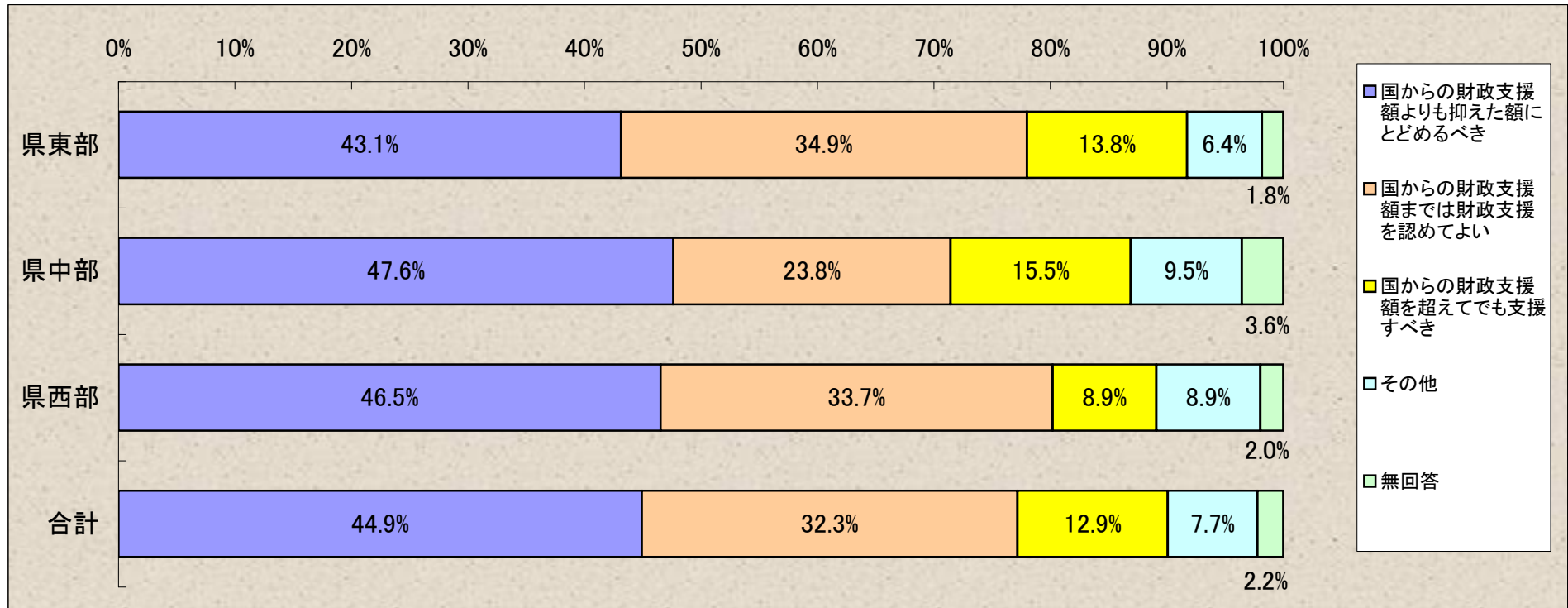
【設問内容】

仮に公立大学にする場合などの程度の県・鳥取市の財政負担まで許されると思いますか。

- ① 財政支援は、大学の自助努力により、国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき
- ② 国からの財政支援額までは、大学に対する財政支援を認めてよい
- ③ 国からの財政支援額を超えてでも、大学を支援すべき
- ④ その他()

9-(3) 公立化に伴う県・鳥取市の財政負担の許容範囲(一般県民)

◆各地区とも、「国からの財政支援額までは財政支援を認めてよい」とする意見が圧倒的であるが、保護者に比べ、「国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき」とする意見が多い。



選択肢	国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき	国からの財政支援額までは財政支援を認めてよい	国からの財政支援額を超えてでも支援すべき	その他	無回答	合計
1 県東部	94	76	30	14	4	218
2 県中部	40	20	13	8	3	84
3 県西部	47	34	9	9	2	101
合計	181	130	52	31	9	403

1 県東部	43.1%	34.9%	13.8%	6.4%	1.8%	100.0%
2 県中部	47.6%	23.8%	15.5%	9.5%	3.6%	100.0%
3 県西部	46.5%	33.7%	8.9%	8.9%	2.0%	100.0%
合計	44.9%	32.3%	12.9%	7.7%	2.2%	100.0%

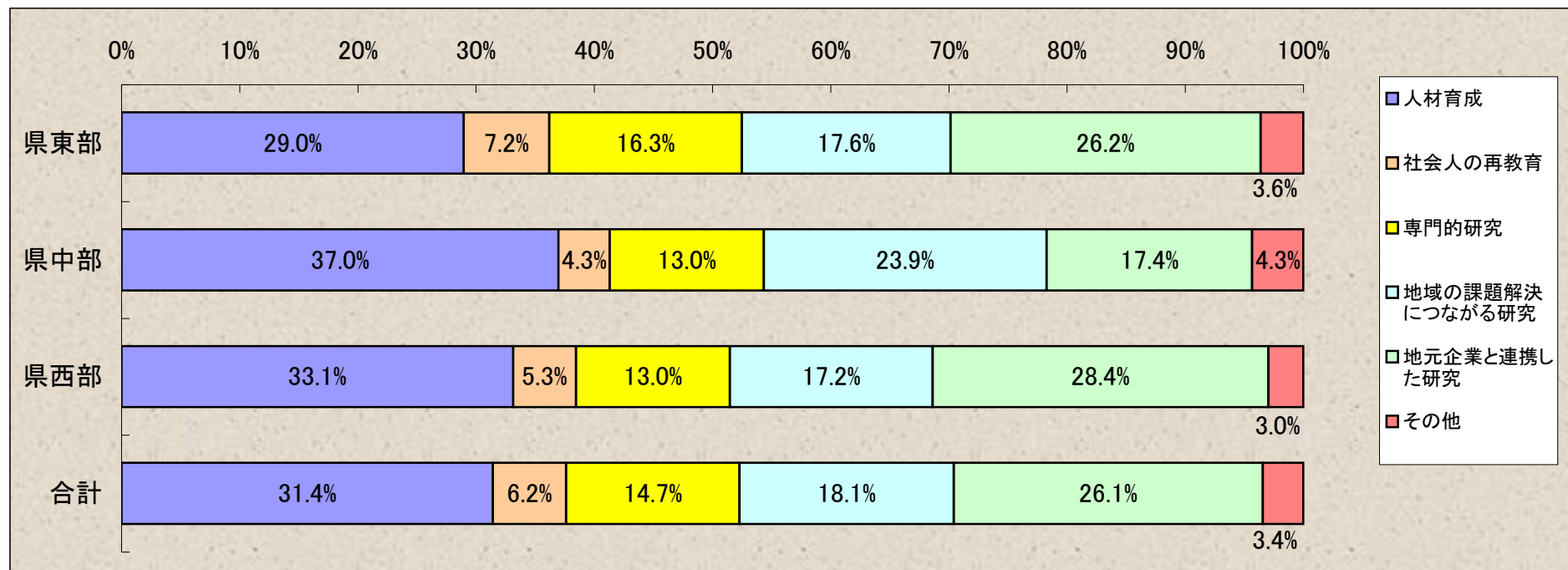
【設問内容】

仮に公立大学にする場合などの程度の県・鳥取市の財政負担まで許されると思いますか。

- ①財政支援は、大学の自助努力により、国からの財政支援額よりも抑えた額にとどめるべき
- ②国からの財政支援額までは、大学に対する財政支援を認めてよい
- ③国からの財政支援額を超えてでも、大学を支援すべき
- ④その他()

10-(1) 期待される地域貢献(県内企業:東・中・西別)

◆「人材育成」が最も期待されているが、東部、西部では「地元企業と連携した研究」への期待も強い。



選択肢	人材育成	社会人の再教育	専門的研究	地域の課題解決につながる研究	地元企業と連携した研究	その他	合計
1 県東部	64	16	36	39	58	8	221
2 県中部	17	2	6	11	8	2	46
3 県西部	56	9	22	29	48	5	169
合計	137	27	64	79	114	15	436

1 県東部	29.0%	7.2%	16.3%	17.6%	26.2%	3.6%	100.0%
2 県中部	37.0%	4.3%	13.0%	23.9%	17.4%	4.3%	100.0%
3 県西部	33.1%	5.3%	13.0%	17.2%	28.4%	3.0%	100.0%
合計	31.4%	6.2%	14.7%	18.1%	26.1%	3.4%	100.0%

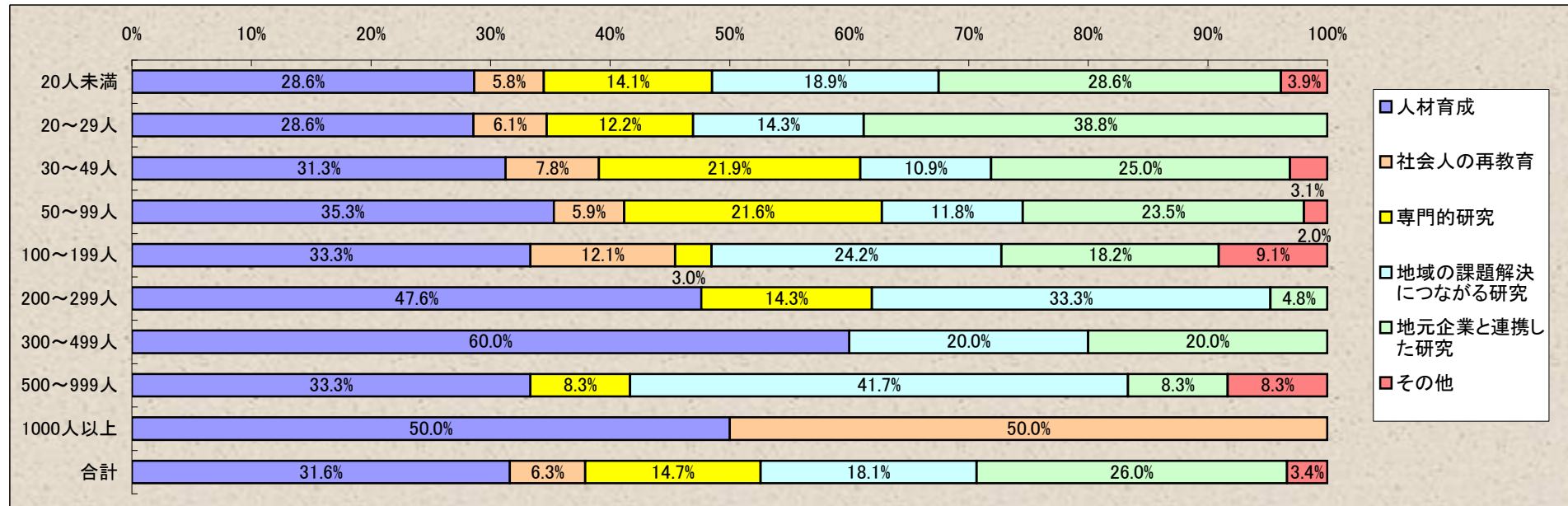
【設問内容】

鳥取環境大学の地域貢献について、大学に何を期待しますか。

- ①人材育成 ②社会人の再教育 ③専門的研究
 ④地域の課題解決につながる研究 ⑤地元企業と連携した研究
 ⑥その他()

10-(2) 期待される地域貢献(県内企業:規模別)

◆「人材育成」が最も期待されているが、小規模な企業では「地元企業と連携した研究」への期待も強い。



選択肢	人材育成	社会人の再教育	専門的研究	地域の課題解決につながる研究	地元企業と連携した研究	その他	合計
1 20人未満	59	12	29	39	59	8	206
2 20~29人	14	3	6	7	19	0	49
3 30~49人	20	5	14	7	16	2	64
4 50~99人	18	3	11	6	12	1	51
5 100~199人	11	4	1	8	6	3	33
6 200~299人	10	0	3	7	1	0	21
7 300~499人	3	0	0	1	1	0	5
8 500~999人	4	0	1	5	1	1	12
9 1000人以上	1	1	0	0	0	0	2
合計	140	28	65	80	115	15	443

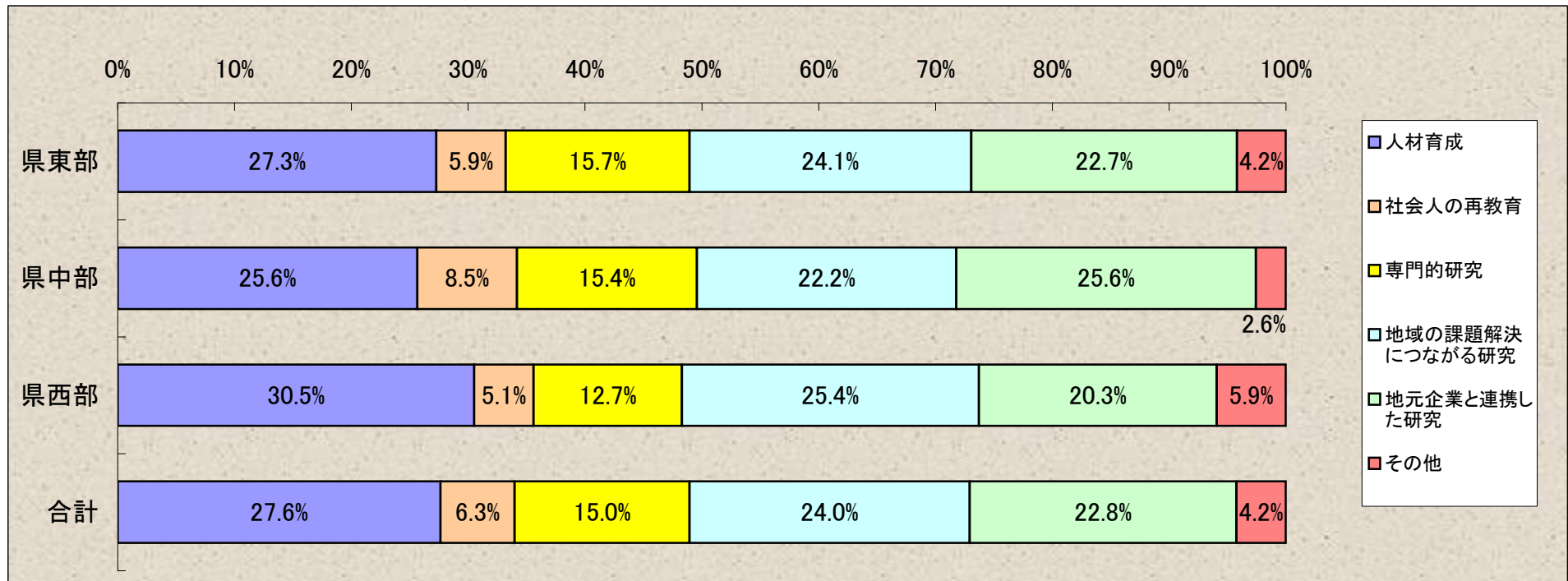
1 20人未満	28.6%	5.8%	14.1%	18.9%	28.6%	3.9%	100.0%
2 20~29人	28.6%	6.1%	12.2%	14.3%	38.8%	0.0%	100.0%
3 30~49人	31.3%	7.8%	21.9%	10.9%	25.0%	3.1%	100.0%
4 50~99人	35.3%	5.9%	21.6%	11.8%	23.5%	2.0%	100.0%
5 100~199人	33.3%	12.1%	3.0%	24.2%	18.2%	9.1%	100.0%
6 200~299人	47.6%	0.0%	14.3%	33.3%	4.8%	0.0%	100.0%
7 300~499人	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
8 500~999人	33.3%	8.3%	0.0%	41.7%	8.3%	8.3%	100.0%
9 1000人以上	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	31.6%	6.3%	14.7%	18.1%	26.0%	3.4%	100.0%

【設問内容】

鳥取環境大学の地域貢献について、大学に何を期待しますか。
 ①人材育成 ②社会人の再教育 ③専門的研究
 ④地域の課題解決につながる研究 ⑤地元企業と連携した研究
 ⑥その他()

10-(3) 期待される地域貢献(一般県民)

◆「人材育成」、「地域の課題解決につながる研究」、「地元企業と連携した研究」を求める意見が多い。



選択肢	人材育成	社会人の再教育	専門的研究	地域の課題解決につながる研究	地元企業と連携した研究	その他	合計
1 県東部	78	17	45	69	65	12	286
2 県中部	30	10	18	26	30	3	117
3 県西部	36	6	15	30	24	7	118
合計	144	33	78	125	119	22	521

1 県東部	27.3%	5.9%	15.7%	24.1%	22.7%	4.2%	100.0%
2 県中部	25.6%	8.5%	15.4%	22.2%	25.6%	2.6%	100.0%
3 県西部	30.5%	5.1%	12.7%	25.4%	20.3%	5.9%	100.0%
合計	27.6%	6.3%	15.0%	24.0%	22.8%	4.2%	100.0%

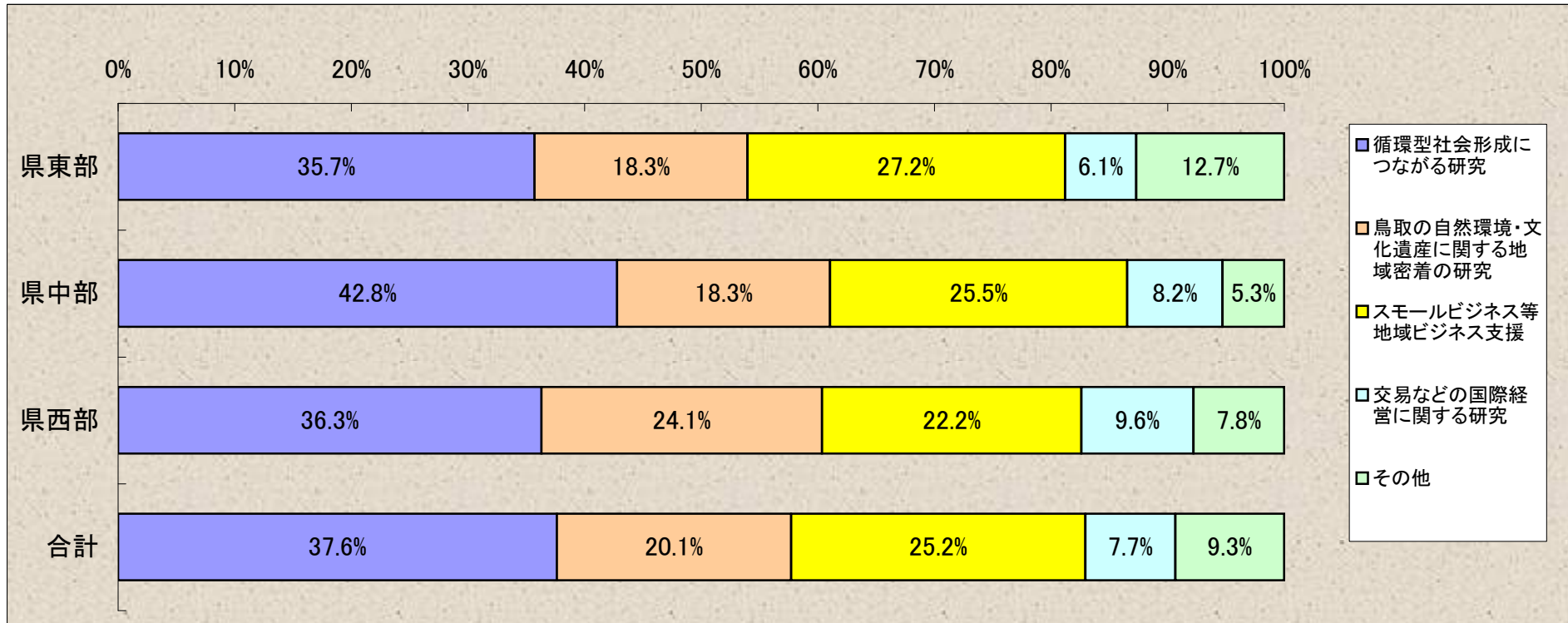
【設問内容】

鳥取環境大学の地域貢献について、大学に何を期待しますか。

- ①人材育成 ②社会人の再教育 ③専門的研究
 ④地域の課題解決につながる研究 ⑤地元企業と連携した研究
 ⑥その他()

11-(1) 取り上げてほしい研究テーマ(保護者)

◆各地区とも、保護者は「循環型社会形成につながる研究」に期待する割合が高い。



選択肢	循環型社会形成につながる研究	鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着の研究	スモールビジネス等地域ビジネス支援	交易などの国際経営に関する研究	その他	合計
1 県東部	135	69	103	23	48	378
2 県中部	89	38	53	17	11	208
3 県西部	98	65	60	26	21	270
合計	322	172	216	66	80	856

選択肢	循環型社会形成につながる研究	鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着の研究	スモールビジネス等地域ビジネス支援	交易などの国際経営に関する研究	その他	合計
1 県東部	35.7%	18.3%	27.2%	6.1%	12.7%	100.0%
2 県中部	42.8%	18.3%	25.5%	8.2%	5.3%	100.0%
3 県西部	36.3%	24.1%	22.2%	9.6%	7.8%	100.0%
合計	37.6%	20.1%	25.2%	7.7%	9.3%	100.0%

【設問内容】
鳥取環境大学に取り上げてほしい研究テーマはなんですか。
①廃棄物工学、バイオマス等の循環型社会形成につながる研究
②鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着型の研究
③地域振興のためのスモールビジネス等地域ビジネス支援
④北東アジアほかとの交易などの国際経営に関する研究
⑤その他()

11-(2) 取り上げてほしい研究テーマ(県内企業:東・中・西別)

◆「循環型社会形成につながる研究」と「スモールビジネス等地域ビジネス支援」が期待されている。



選択肢	循環型社会形成につながる研究	鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着の研究	スモールビジネス等地域ビジネス支援	交易などの国際経営に関する研究	その他	合計
1 県東部	77	24	59	25	9	194
2 県中部	20	4	12	4	2	42
3 県西部	59	7	49	17	5	137
合計	156	35	120	46	16	373

1 県東部	39.7%	12.4%	30.4%	12.9%	4.6%	100.0%
2 県中部	47.6%	9.5%	28.6%	9.5%	4.8%	100.0%
3 県西部	43.1%	5.1%	35.8%	12.4%	3.6%	100.0%
合計	41.8%	9.4%	32.2%	12.3%	4.3%	100.0%

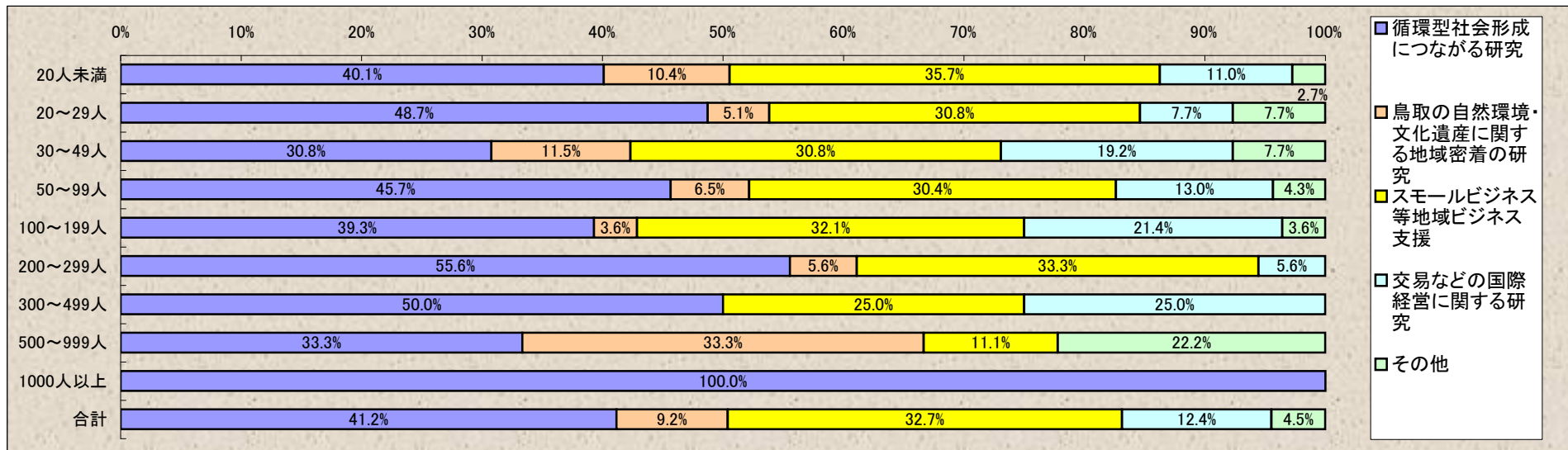
【設問内容】

鳥取環境大学に取り上げてほしい研究テーマはなんですか。

- ① 廃棄物工学、バイオマス等の循環型社会形成につながる研究
- ② 鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着型の研究
- ③ 地域振興のためのスモールビジネス等地域ビジネス支援
- ④ 北東アジアほかとの交易などの国際経営に関する研究
- ⑤ その他()

11-(3) 取り上げてほしい研究テーマ(県内企業:規模別)

◆「循環型社会形成につながる研究」と「スモールビジネス等地域ビジネス支援」が期待されている。



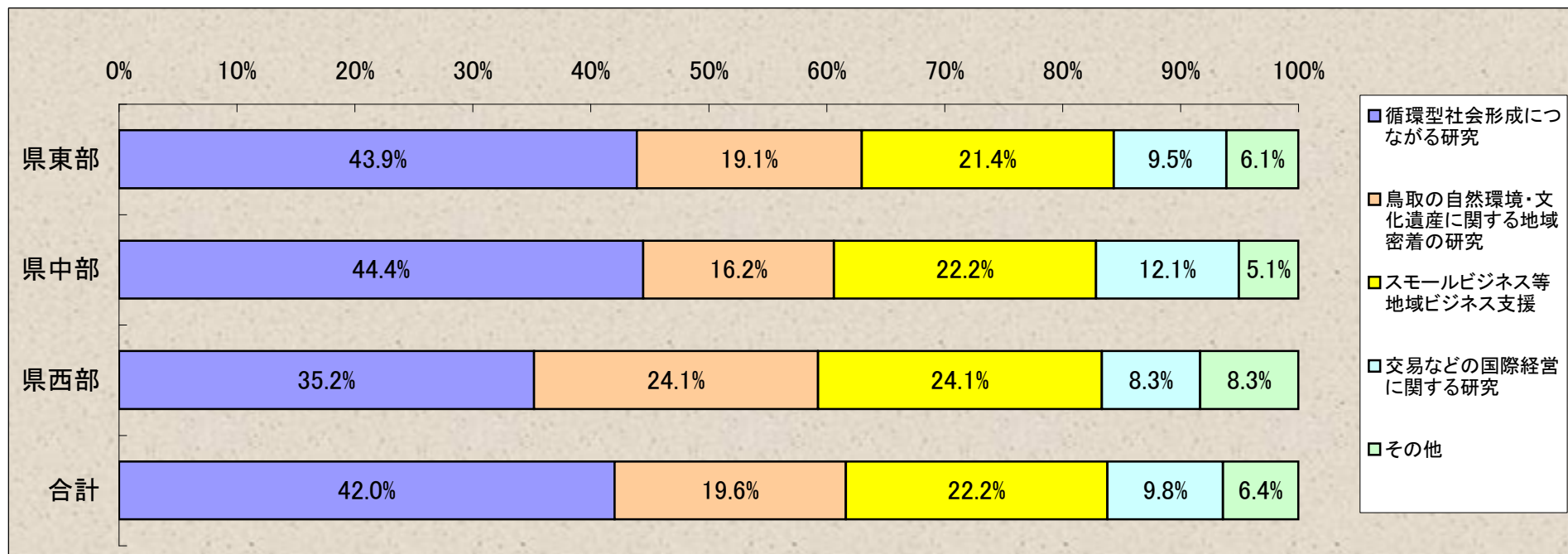
選択肢	循環型社会形成につながる研究	鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着の研究	スモールビジネス等地域ビジネス支援	交易などの国際経営に関する研究	その他	合計
1 20人未満	73	19	65	20	5	182
2 20~29人	19	2	12	3	3	39
3 30~49人	16	6	16	10	4	52
4 50~99人	21	3	14	6	2	46
5 100~199人	11	1	9	6	1	28
6 200~299人	10	1	6	1	0	18
7 300~499人	2	0	1	1	0	4
8 500~999人	3	3	1	0	2	9
9 1000人以上	1	0	0	0	0	1
合計	156	35	124	47	17	379

1 20人未満	40.1%	10.4%	35.7%	11.0%	2.7%	100.0%
2 20~29人	48.7%	5.1%	30.8%	7.7%	7.7%	100.0%
3 30~49人	30.8%	11.5%	30.8%	19.2%	7.7%	100.0%
4 50~99人	45.7%	6.5%	30.4%	13.0%	4.3%	100.0%
5 100~199人	39.3%	3.6%	32.1%	21.4%	3.6%	100.0%
6 200~299人	55.6%	5.6%	33.3%	5.6%	0.0%	100.0%
7 300~499人	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%
8 500~999人	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	100.0%
9 1000人以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	41.2%	9.2%	32.7%	12.4%	4.5%	100.0%

【設問内容】
鳥取環境大学に取り上げてほしい研究テーマはなんですか。
①廃棄物工学、バイオマス等の循環型社会形成につながる研究
②鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着型の研究
③地域振興のためのスモールビジネス等地域ビジネス支援
④北東アジアほかとの交易などの国際経営に関する研究
⑤その他()

11-(4) 取り上げてほしい研究テーマ(一般県民)

◆「循環型社会形成につながる研究」が最も期待されているが、西部では「鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着の研究」に期待する割合が高い。



選択肢	循環型社会形成につながる研究	鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着の研究	スモールビジネス等地域ビジネス支援	交易などの国際経営に関する研究	その他	合計
1 県東部	115	50	56	25	16	262
2 県中部	44	16	22	12	5	99
3 県西部	38	26	26	9	9	108
合計	197	92	104	46	30	469

1 県東部	43.9%	19.1%	21.4%	9.5%	6.1%	100.0%
2 県中部	44.4%	16.2%	22.2%	12.1%	5.1%	100.0%
3 県西部	35.2%	24.1%	24.1%	8.3%	8.3%	100.0%
合計	42.0%	19.6%	22.2%	9.8%	6.4%	100.0%

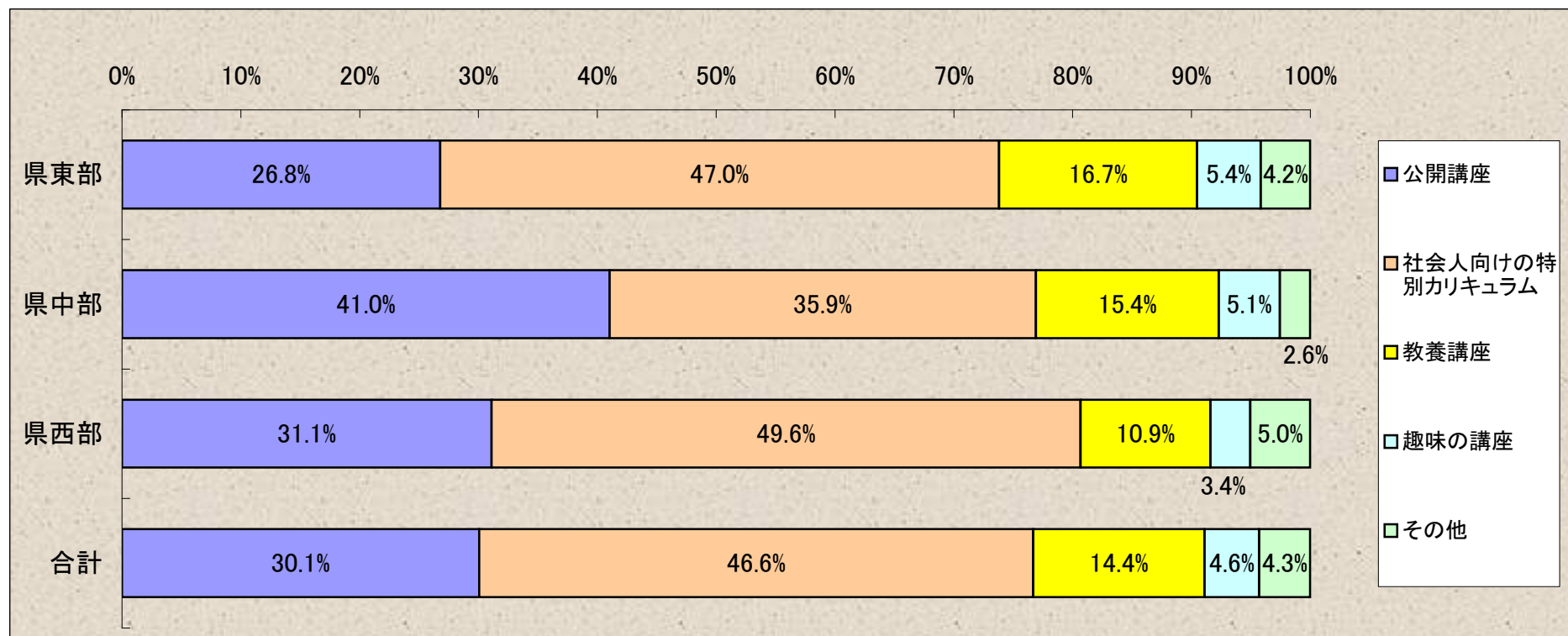
【設問内容】

鳥取環境大学に取り上げてほしい研究テーマはなんですか。

- ① 廃棄物工学、バイオマス等の循環型社会形成につながる研究
- ② 鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着型の研究
- ③ 地域振興のためのスモールビジネス等地域ビジネス支援
- ④ 北東アジアほかとの交易などの国際経営に関する研究
- ⑤ その他()

12 期待される社会人教育(県内企業)

◆「社会人向けの特別カリキュラム」や「公開講座」を期待する意見が多い。



選択肢	公開講座	社会人向けの特別カリキュラム	教養講座	趣味の講座	その他	合計
1 県東部	45	79	28	9	7	168
2 県中部	16	14	6	2	1	39
3 県西部	37	59	13	4	6	119
合計	98	152	47	15	14	326

選択肢	公開講座	社会人向けの特別カリキュラム	教養講座	趣味の講座	その他	合計
1 県東部	26.8%	47.0%	16.7%	5.4%	4.2%	100.0%
2 県中部	41.0%	35.9%	15.4%	5.1%	2.6%	100.0%
3 県西部	31.1%	49.6%	10.9%	3.4%	5.0%	100.0%
合計	30.1%	46.6%	14.4%	4.6%	4.3%	100.0%

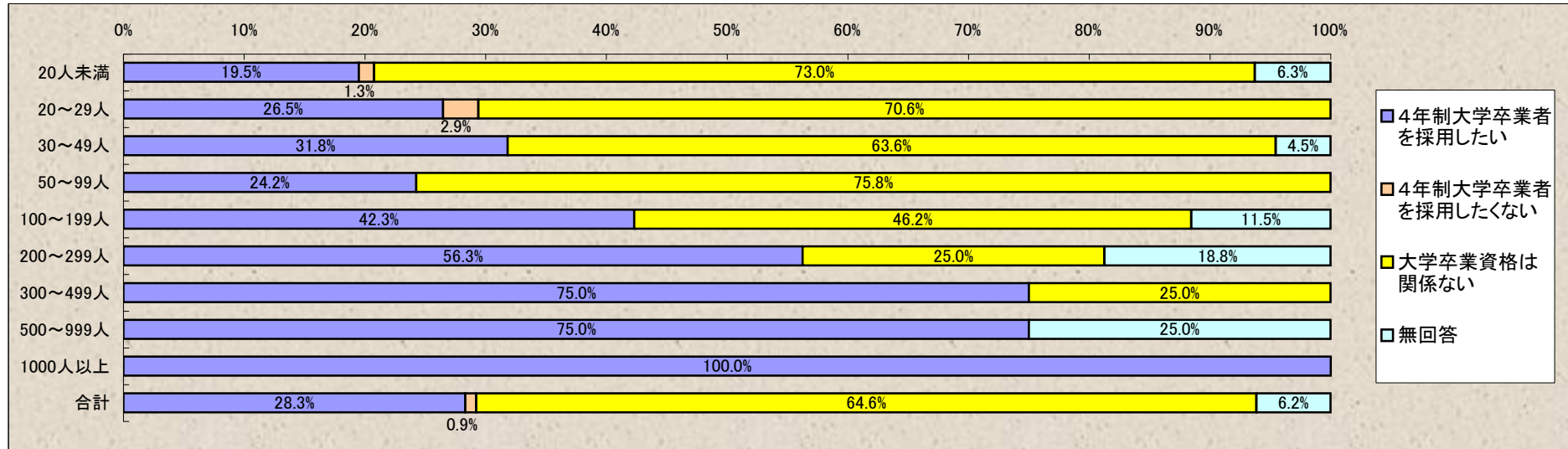
【設問内容】

鳥取環境大学に取り上げてほしい研究テーマはなんですか。

- ① 廃棄物工学、バイオマス等の循環型社会形成につながる研究
- ② 鳥取の自然環境・文化遺産に関する地域密着型の研究
- ③ 地域振興のためのスモールビジネス等地域ビジネス支援
- ④ 北東アジアほかとの交易などの国際経営に関する研究
- ⑤ その他()

13 従業員採用に当たっての大学卒業資格(県内企業)

◆事業所の規模に比例して、大規模な企業ほど4年制大学卒業者を採用したいとする傾向がある。



選択肢	4年制大学卒業者を採用したい	4年制大学卒業者を採用したくない	大学卒業資格は関係ない	無回答	合計
1 20人未満	31	2	116	10	159
2 20~29人	9	1	24	0	34
3 30~49人	14	0	28	2	44
4 50~99人	8	0	25	0	33
5 100~199人	11	0	12	3	26
6 200~299人	9	0	4	3	16
7 300~499人	3	0	1	0	4
8 500~999人	6	0	0	2	8
9 1000人以上	1	0	0	0	1
合計	92	3	210	20	325

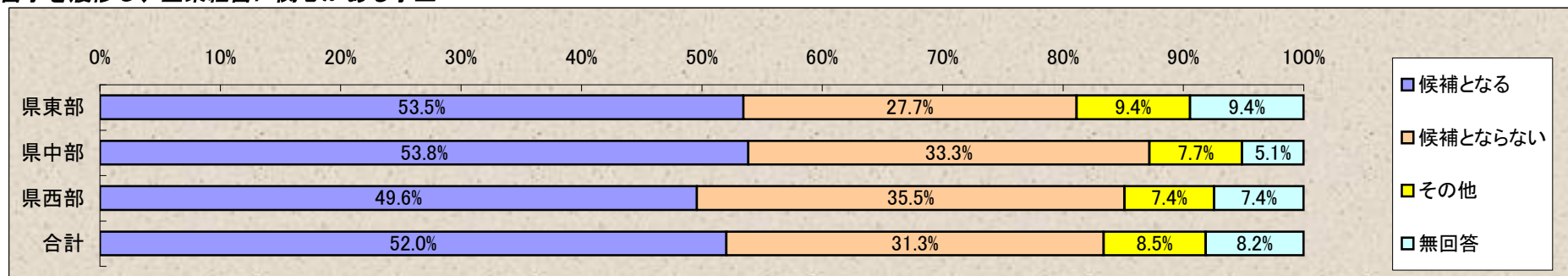
1 20人未満	19.5%	1.3%	73.0%	6.3%	100.0%
2 20~29人	26.5%	2.9%	70.6%	0.0%	100.0%
3 30~49人	31.8%	0.0%	63.6%	4.5%	100.0%
4 50~99人	24.2%	0.0%	75.8%	0.0%	100.0%
5 100~199人	42.3%	0.0%	46.2%	11.5%	100.0%
6 200~299人	56.3%	0.0%	25.0%	18.8%	100.0%
7 300~499人	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%
8 500~999人	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
9 1000人以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	28.3%	0.9%	64.6%	6.2%	100.0%

【設問内容】
従業員を採用するにあたって、大学卒業資格をどのようにお考えですか。
①4年制大学卒業者を採用したい
②4年制大学卒業者を採用したくない
③大学卒業資格は関係ない

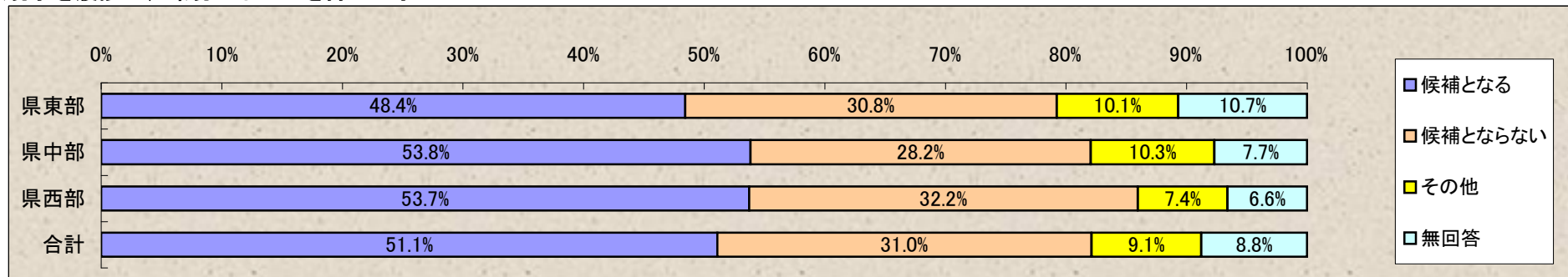
14 経営学・環境学を履修した学生が採用の候補となる可能性(県内企業)

◆経営学、環境学とも、概ね5割の企業が採用の候補となるとしている。

経営学を履修し、企業経営に関心がある学生



環境学を履修し、環境マインドを持った学生



【設問内容】

経営学を履修し、企業経営に関心がある学生(環境学を履修し、環境マインドがある学生)は、採用の候補となりますか。(人柄には問題がない前提)

①候補となる ②候補とならない ③その他()

経営学を履修し、企業経営に関心がある学生

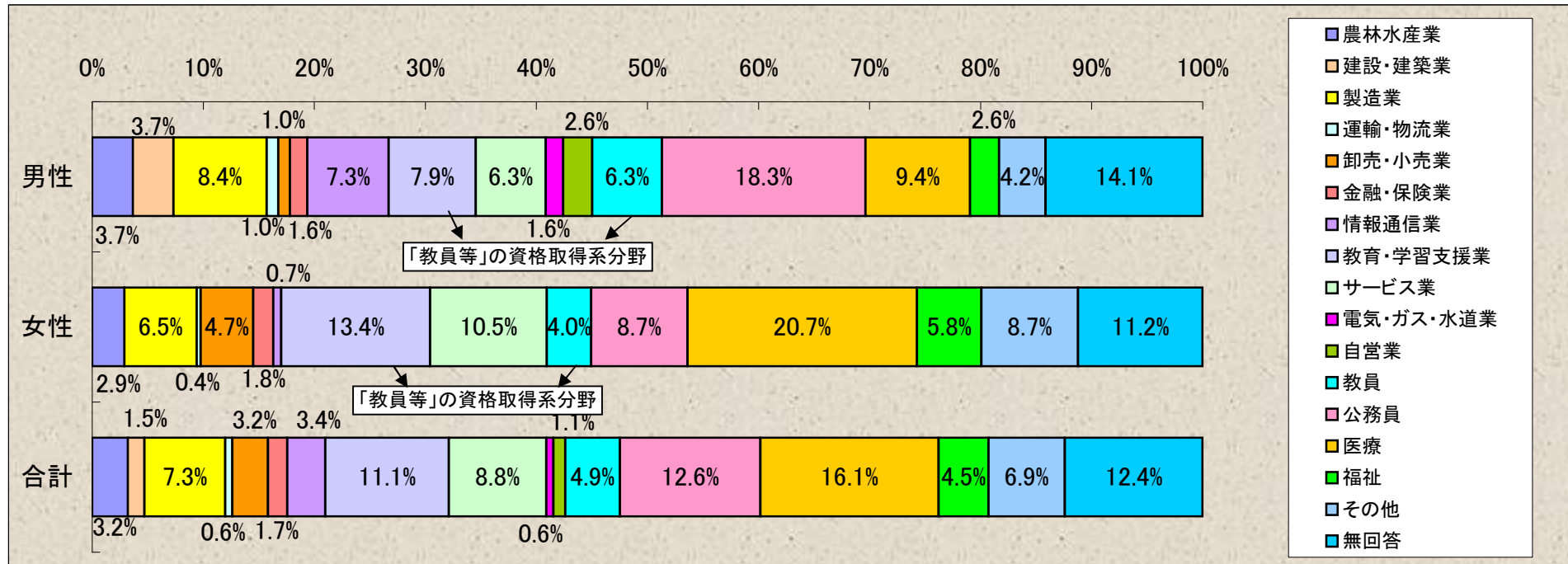
選択肢	候補となる	候補とならない	その他	無回答	合計
1 県東部	85	44	15	15	159
2 県中部	21	13	3	2	39
3 県西部	60	43	9	9	121
合計	166	100	27	26	319
1 県東部	53.5%	27.7%	9.4%	9.4%	100.0%
2 県中部	53.8%	33.3%	7.7%	5.1%	100.0%
3 県西部	49.6%	35.5%	7.4%	7.4%	100.0%
合計	52.0%	31.3%	8.5%	8.2%	100.0%

環境学を履修し、環境マインドを持った学生

選択肢	候補となる	候補とならない	その他	無回答	合計
1 県東部	77	49	16	17	159
2 県中部	21	11	4	3	39
3 県西部	65	39	9	8	121
合計	163	99	29	28	319
1 県東部	48.4%	30.8%	10.1%	10.7%	100.0%
2 県中部	53.8%	28.2%	10.3%	7.7%	100.0%
3 県西部	53.7%	32.2%	7.4%	6.6%	100.0%
合計	51.1%	31.0%	9.1%	8.8%	100.0%

15 県内就職する際の希望分野(高校2年生)

◆男子高校生は「公務員」や「教員等の資格取得系分野」への希望が多く、女子高校生は「医療」や「教員等の資格取得系分野」への希望が多い。



選択肢	農林水産業	建設・建築業	製造業	運輸・物流業	卸売・小売業	金融・保険業	情報通信業	教育・学習支援業	サービス業	電気・ガス・水道業	自営業	教員
1 男性	7	7	16	2	2	3	14	15	12	3	5	12
2 女性	8	0	18	1	13	5	2	37	29	0	0	11
合計	15	7	34	3	15	8	16	52	41	3	5	23

1 男性	3.7%	3.7%	8.4%	1.0%	1.0%	1.6%	7.3%	7.9%	6.3%	1.6%	2.6%	6.3%
2 女性	2.9%	0.0%	6.5%	0.4%	4.7%	1.8%	0.7%	13.4%	10.5%	0.0%	0.0%	4.0%
合計	3.2%	1.5%	7.3%	0.6%	3.2%	1.7%	3.4%	11.1%	8.8%	0.6%	1.1%	4.9%

選択肢	公務員	医療	福祉	その他	無回答	合計
1 男性	35	18	5	8	27	191
2 女性	24	57	16	24	31	276
合計	59	75	21	32	58	467

1 男性	18.3%	9.4%	2.6%	4.2%	14.1%	100.0%
2 女性	8.7%	20.7%	5.8%	8.7%	11.2%	100.0%
合計	12.6%	16.1%	4.5%	6.9%	12.4%	100.0%

【設問内容】

県内に就職したいと答えた方は、どのような分野に就職したいですか。

- ①農林水産業 ②建設・建築業 ③製造業 ④運輸・物流業
 ⑤卸売・小売業 ⑥金融・保険業 ⑦情報通信業
 ⑧教育・学習支援業 ⑨サービス業 ⑩電気・ガス・水道業
 ⑪自営業 ⑫教員 ⑬公務員 ⑭医療 ⑮福祉 ⑯その他()